デジタルビデオエディター　取扱説明書

DVE781

●このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

●お読みになったあとは大切に保管してください。

目次

はじめに

ご使用方法 - 基本編 -

ご使用方法 - 応用編 -

ご使用方法 - 上級編 -

接続の前に

接続のしかた - 基本編 -

接続のしかた - 応用編 -

故障かな？と思ったら

はじめに

梱包内容一覧

●DVE781本体 ×1

●ACアダプター ×1

●AVケーブル ×1

●保証書&ユーザー保証登録カード ×1

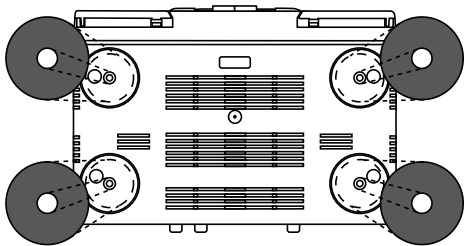
●コンパクトリモコン ×1

●滑り止めパッド（2個1組）×2

●S端子ケーブル ×1

滑り止めパッドについて

DVE781本体底面に付属の滑り止めパッドを貼ることで、より安定した設置が可能です。

台紙から円形の滑り止めパッドを剥がし、左図のように貼り付けてください。

仕様

DVE781本体

●消費電力：約4W以下
●定格入力電圧：DC6V
●本体材質：ABS樹脂
●本体色：ピアノブラック
スイッチ部：クロムメッキ
●重量：約550g
●許容動作温度：5～35℃
●本体寸法：W219.5×D155×H59（mm）
●映像入力：S端子×2系統 / ピン端子×2系統
●映像出力：S端子×2系統 / ピン端子×2系統
●音声入力：ステレオ音声端子(L-R) ×2系統
●音声出力：ステレオ音声端子(L-R) ×2系統

ACアダプター PSE

●入力：AC100V 50/60Hz
●出力：DC6V 600mA（+-◎-−）

使用上の注意

安全のため必ずお守りください

表示の意味は次の通りです。

⃠禁止	禁止を表します
⚠注意	守らないと傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性があります
❗重要	使用するうえで重要な事項を示します

⃠禁止 他人の著作物を無断で編集･録画することは禁止されております。著作権者に無断で編集･録画をおこなった場合、著作権を侵害することになりますので、十分ご留意ください。また、本製品を使用して編集・録画された映像、またはその複製物に関して、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⃠禁止 本製品は日本国内専用です。絶対に日本国外では使用しないでください。日本国外に持ち出された時点で保証対象外となります。

⃠禁止 本機底面に貼付されている封印シールを剥がさないでください。剥がすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

⚠注意 必ず付属のACアダプターを使用してください。また、本製品はAC100V以外では絶対に使用しないでください。

⚠注意 本製品は精密機器です。強い衝撃を与えたり、高温・多湿・ホコリの多い場所・風通しの悪い場所・直射日光の当たる場所に置かないでください。故障や火災･感電の原因となります。

❗重要 本製品で映像を合成することはできません。また、本製品に録画機能はありません。

❗重要 ダビングされたソフト･海賊版ソフト･すでにノイズが含まれたソフトなどを編集素材に使用した場合、映像を安定させる機能や画像調整機能などが正常に働かない場合があります。

❗重要 本製品を使用したダビング時にごく稀に映像が乱れる場合があります。このような場合は再生機器と録画機器を入れ替えてみてください。

❗重要 ノイズリダクション機能はノイズを低減させる機能となり、完全にノイズを除去することはできません。また、ノイズリダクション機能を使用しますと処理上解像度が低下します。

❗重要 VHS での3倍録画や DVD・HDD での低レート録画によって劣化した映像を本製品で補正することはできません。

❗重要 本製品で成人用ビデオなどのモザイク処理を除去することはできません。

❗重要 本製品で不正視聴防止用スクランブル信号を除去することはできません。

❗重要 本製品の画質補正能力を超えたビデオソースを編集すると、画質が低下する場合がありますのであらかじめご了承ください。

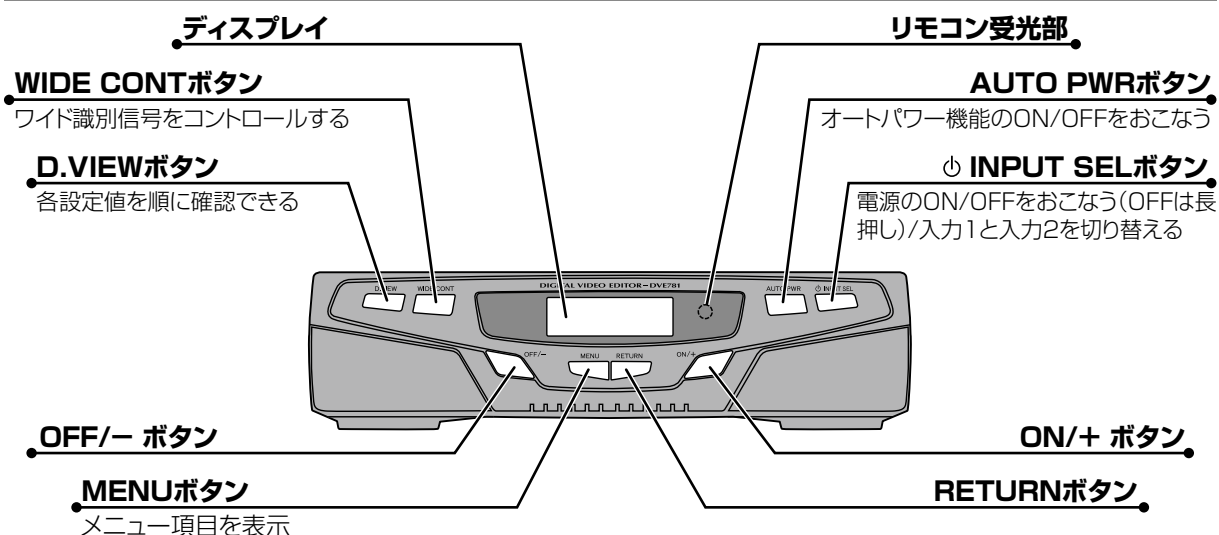
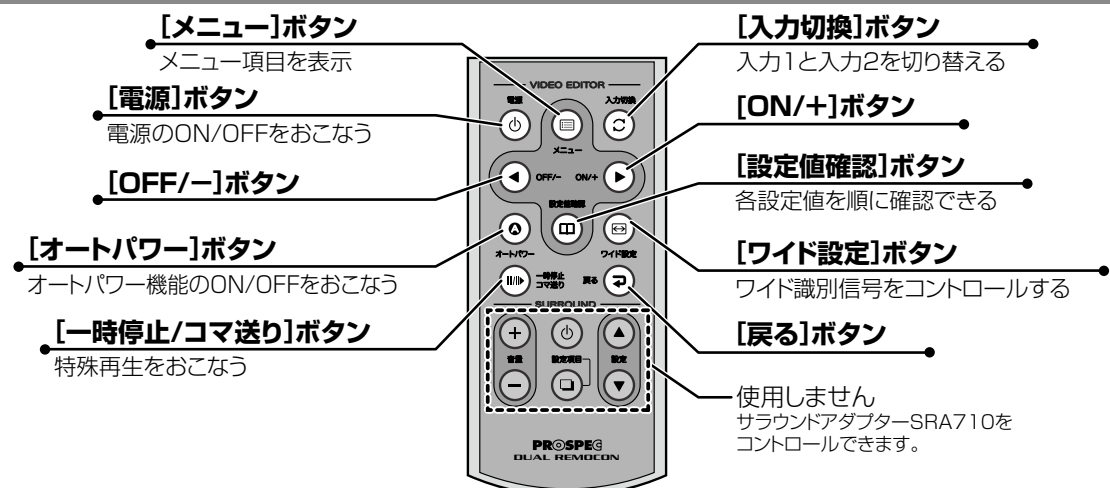
❗重要 本製品は家庭用に設計されています。長時間の使用や高精度な画質補正を要する業務用には適しません。

❗重要 水平解像度は映像の帯域を示します。解像度の低い映像はそのままの解像度で出力されます。

❗重要 本体が多少熱を持つ場合がありますが故障ではありません。

❗重要 本製品は NTSC（525i）規格のビデオ信号に対応しています。

❗重要 検査･修理をご依頼の際は、必ず必要事項が全て記入された保証書を添えてお送りください。保証書が無い場合、検査・修理・その他の費用は全て有料となります。

各部の名称と説明

※各説明上の[ ]はリモコンのボタンを示します。

リモコンの電池交換方法

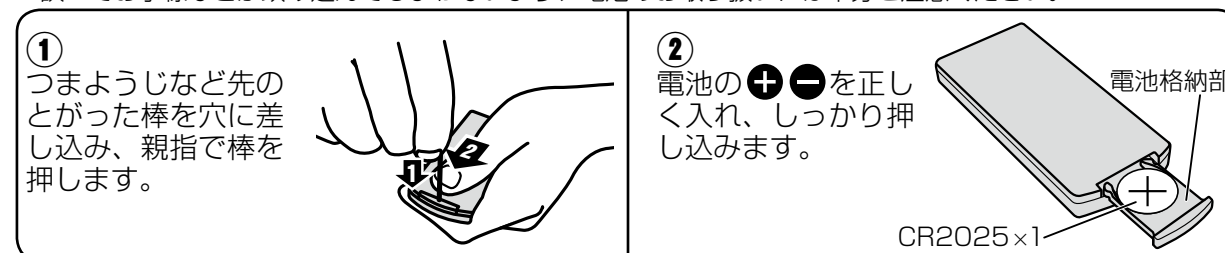
コイン型リチウム電池（CR2025）を1個使用

※誤ってお子様などが飲み込んでしまわないよう、電池のお取り扱いには十分ご注意ください。

① つまようじなど先のとがった棒を穴に差し込み、親指で棒を押します。

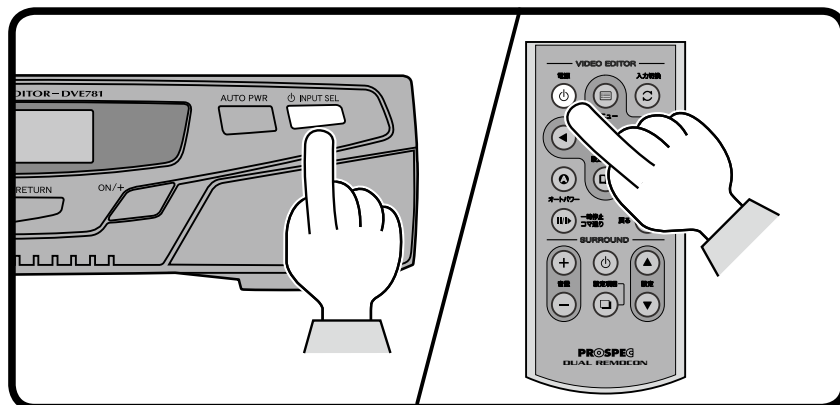
② 電池の＋－を正しく入れ、しっかり押し込みます。

電池格納部

CR2025×1

ご使用方法 - 基本編 -

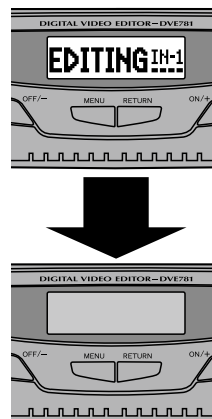
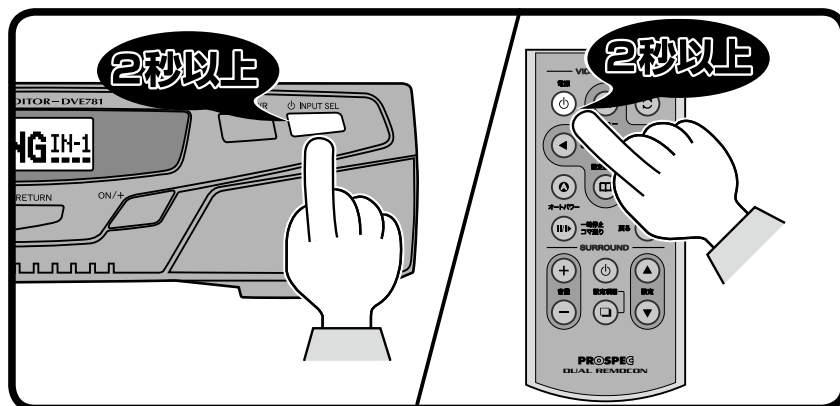
■ 電源を入れる

1 ⏻ INPUT SEL[電源]ボタンを押す。

ディスプレイに「DVE」が２秒間表示されたあと、「EDITING IN-1」が表示されます。

ワンポイント

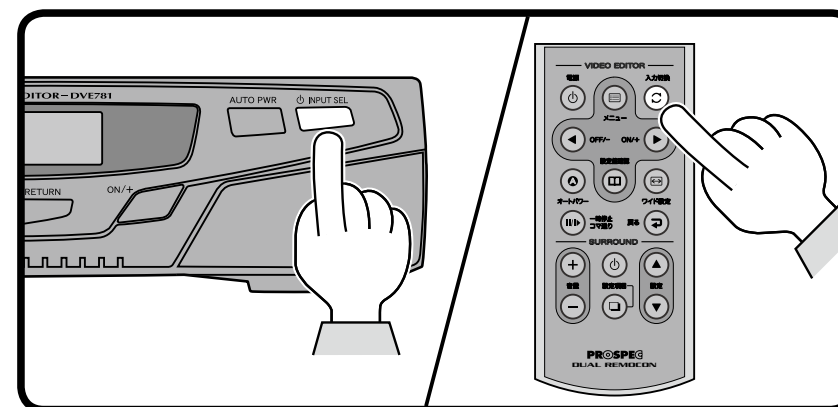
- 電源が入ると「DVE」が2秒間表示されます。映像信号が入力されていないと、2秒以上経過しても「DVE」表示のままです。
- 「EDITING IN-1」表示中、４つの「....」が順に点灯します。
- 電源が入っている時に万が一停電しても、停電復旧後自動的に電源が入ります(パワーガード機能)。

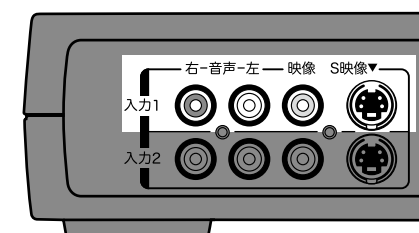
■ 電源を切る

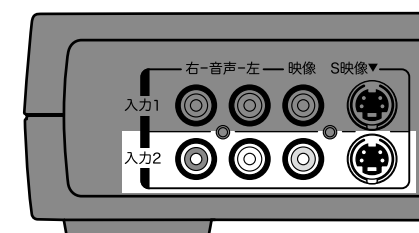
1 ⏻ INPUT SEL[電源]ボタンを2秒以上押す。

ワンポイント

- ⏻INPUT SEL[電源]ボタンを押して電源を切ると、入力した映像がそのまま出力されます(☞ 7ページ)。
- ⏻INPUT SEL(リモコン除く)ボタンを押してから2秒以内に指を離すと、入力系統が切り替わります(☞ 6ページ)。
- 電源を切っても各種設定値は記憶されています。

■ 再生機器を選ぶ

1 ⏻ INPUT SEL[入力切換] ボタンを押す。

● IN-1 →入力１に接続している機器、IN-2 →入力２に接続している機器となります。

例）入力1を選択　　例）入力2を選択

５秒後

映像入力時

ワンポイント

- 映像未入力時は右の表示となります。

映像未入力時

ご使用方法 - 基本編 -

■ 回路を通した映像を出力する

1 電源を入れる。

● 「電源を入れる」(☞ 5ページ) を参照して本体の電源を入れてください。
電源を入れると入力したオリジナルの映像ソースにTBC効果を加えて出力されます。

●特殊再生や各種映像補正をおこなうときも電源を入れてください。

■ 回路を通さずに映像を出力する

1 電源を切る。

● 「電源を切る」(☞ 5ページ) を参照して本体の電源を切ってください。
電源を切ると入力したオリジナルの映像ソースがスルー (そのまま出力)されます。オリジナルの映像ソースに一切の効果を加えたくないときは電源を切ってください。

●電源を切る直前に選択されていた入力系統がスルーされます。

●電源を切ると特殊再生や映像補正はできません。

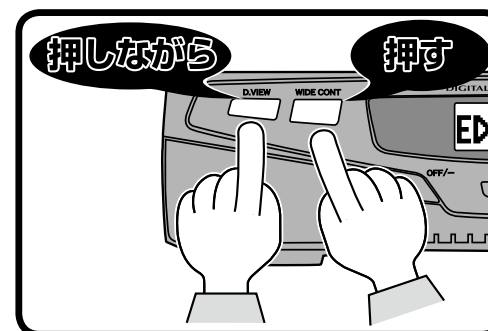
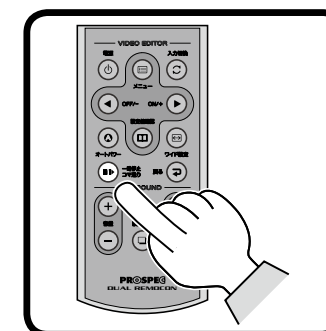
●映像信号を入力しているケーブルと出力しているケーブルの種類が異なる場合※は、映像が出力されません(映像信号をスルーできません)。
※入力側ピン端子ケーブルに対して出力側S端子ケーブル、入力側S端子ケーブルに対して出力側ピン端子ケーブル

ご使用方法 - 応用編 -

※必ず基本編をご理解頂いてからご使用ください

ご使用方法 - 基本編 -
ご使用方法 - 応用編 -
ご使用方法 - 上級編 -
接続の前に
接続のしかた - 基本編 -
接続のしかた - 応用編 -

■ 特殊再生をおこなう

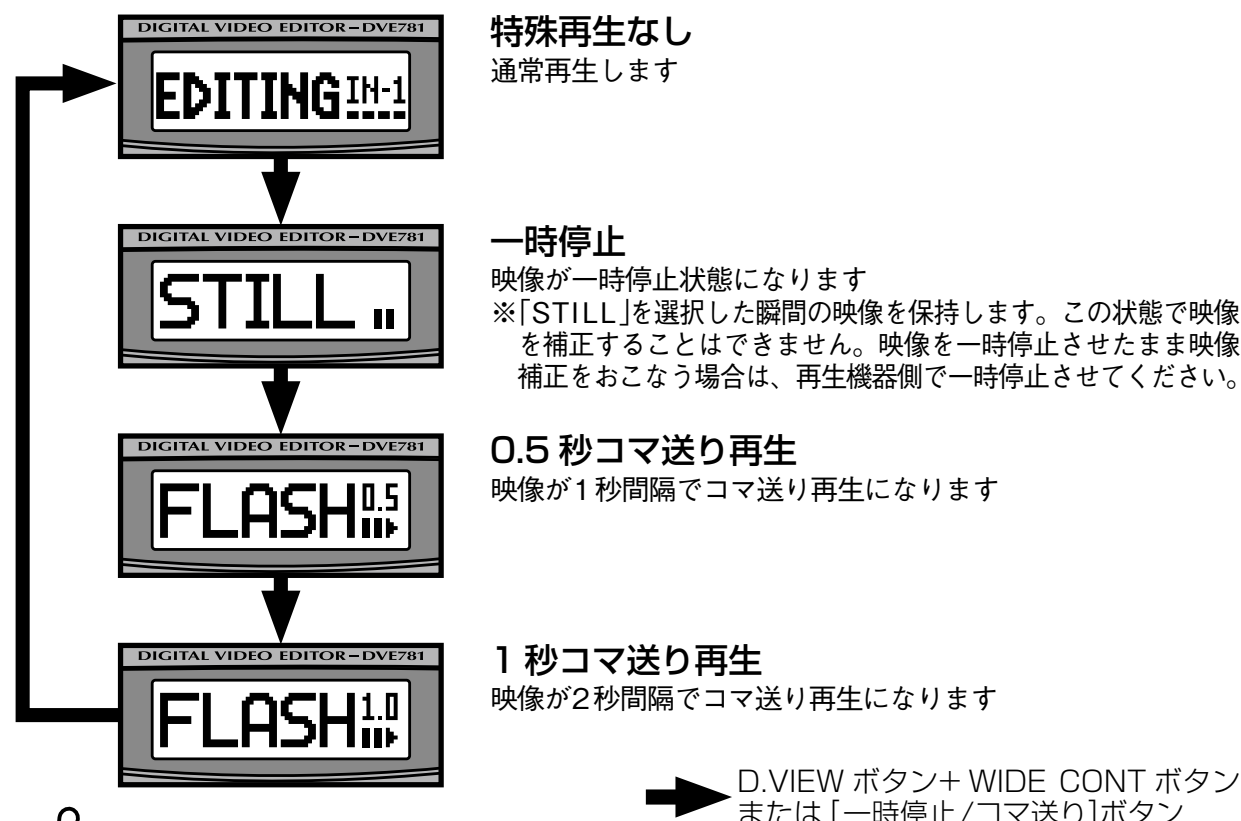
1 D.VIEWボタンを押しながら WIDE CONTボタンを押す。または [一時停止/コマ送り]ボタンを押す。

または

2 同じ操作を繰り返すごとに「STILL」→「FLASH 0.5」→「FLASH 1.0」の順に切り替わる。

特殊再生なし
通常再生します

一時停止
映像が一時停止状態になります
※「STILL」を選択した瞬間の映像を保持します。この状態で映像を補正することはできません。映像を一時停止させたまま映像補正をおこなう場合は、再生機器側で一時停止させてください。

0.5 秒コマ送り再生
映像が1秒間隔でコマ送り再生になります

1 秒コマ送り再生
映像が2秒間隔でコマ送り再生になります

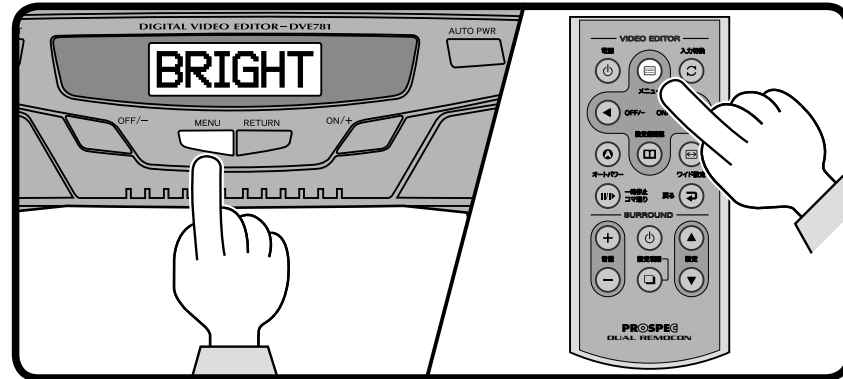
D.VIEW ボタン+ WIDE CONT ボタン
または [一時停止/コマ送り]ボタン

ワンポイント

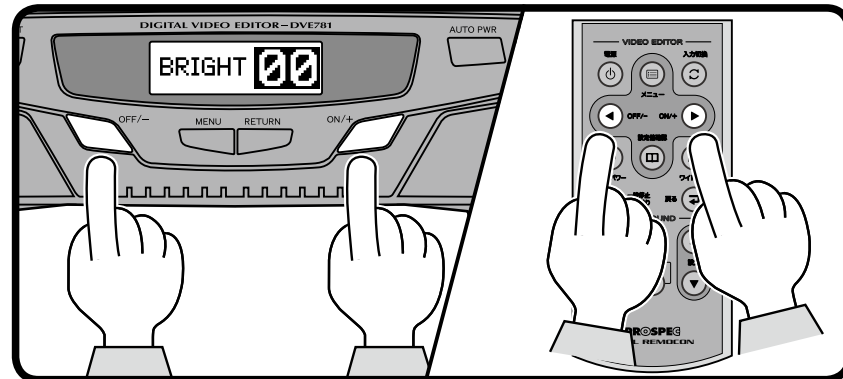
・電源を切っていると、特殊再生はできません。特殊再生中に電源を切ると、特殊再生は解除されます。
・録画中に特殊再生をおこなうと、特殊再生状態のまま録画されます。
・特殊再生中に他の操作をおこなうと、特殊再生は解除されます。

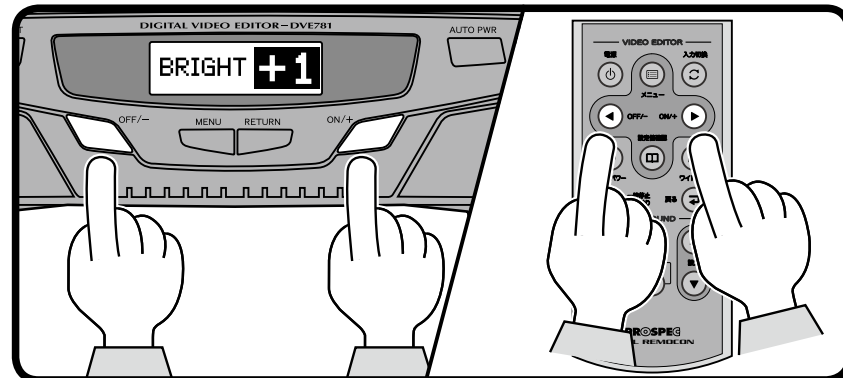
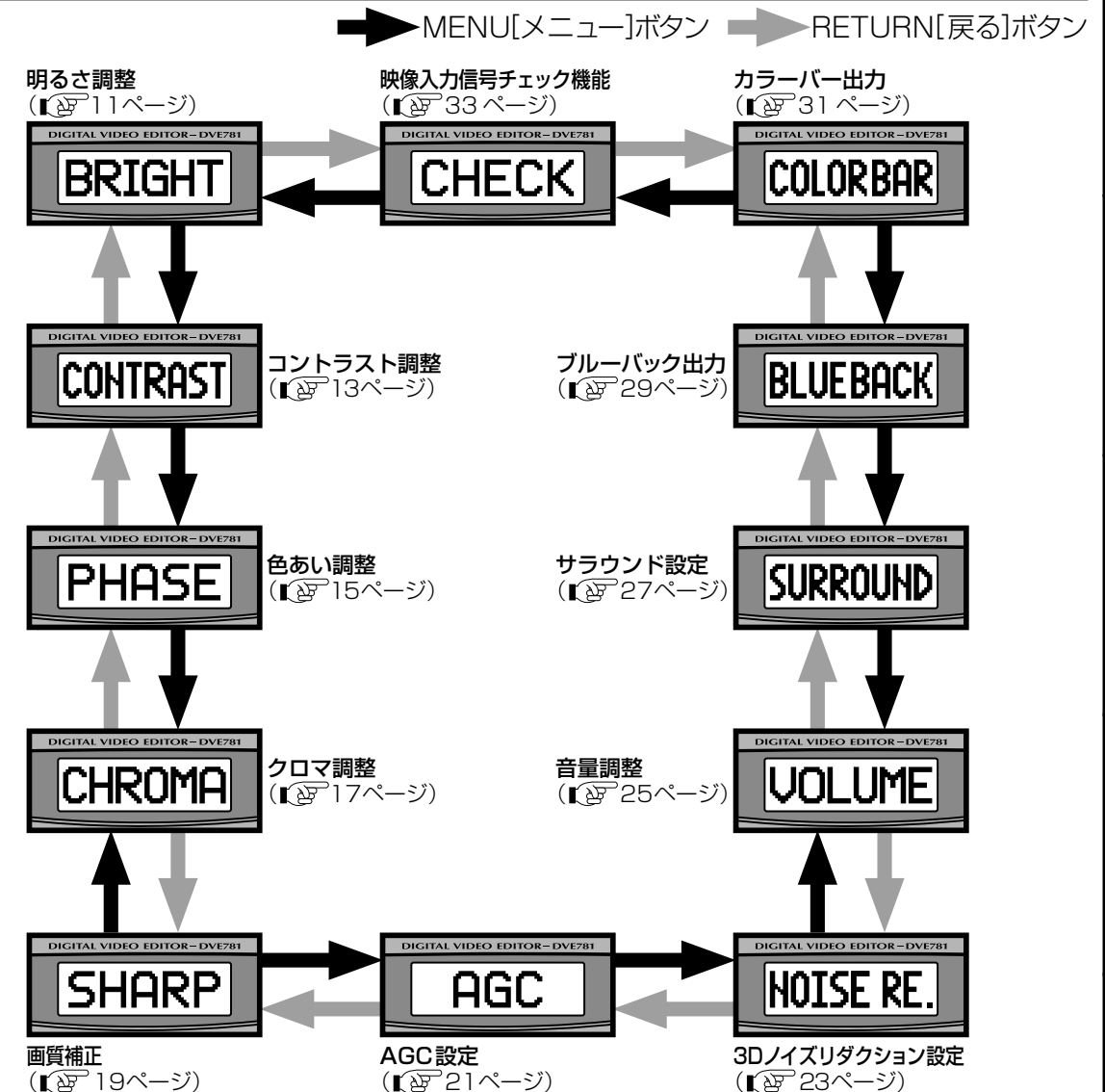
ご使用方法 -上級編-

■ メニュー機能を使いこなす

1 MENU[メニュー]ボタンを押すと、直前に選択していたメニュー項目が表示され、MENU[メニュー]ボタンを押すごとにメニュー項目が切り替わる。

例) 明るさ調整

2 OFF/−[OFF/−]ボタンまたはON/+[ON/+]ボタンを押して、表示しているメニュー項目の設定モードに切り替える。

例) 明るさ調整

3 再度OFF/−[OFF/−]ボタンまたはON/+[ON/+]ボタンを押して設定値を変更する。

例) 明るさ調整

■ メニュー項目の流れ

ワンポイント

・各設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。

・メニュー項目は、再生機器別（入力1/入力2）に対して独立して設定できます。各再生機器によって微妙に異なる映像の色あいやコントラストなどを独立して設定しておくことができ便利です。

・直前に選択していたメニュー項目は記憶されています。通常表示中にOFF/−[OFF/−]ボタンまたはON/+[ON/+]ボタンを押すことにより、直前に選択していたメニュー項目を表示、すぐに設定変更ができます。ただし、電源を切ってから再び電源を入れると、「BRIGHT」から始まります。

・ディスプレイにいずれかのメニュー項目が表示されているときにRETURN[戻る]ボタンを押すと、メニュー項目が逆回りに切り替わります。

・メニュー項目表示中にボタン操作をしない状態が5秒以上続くと、自動的に「EDITING IN:1」(映像信号入力時)、または「DVE」(映像信号未入力時)表示に戻ります。

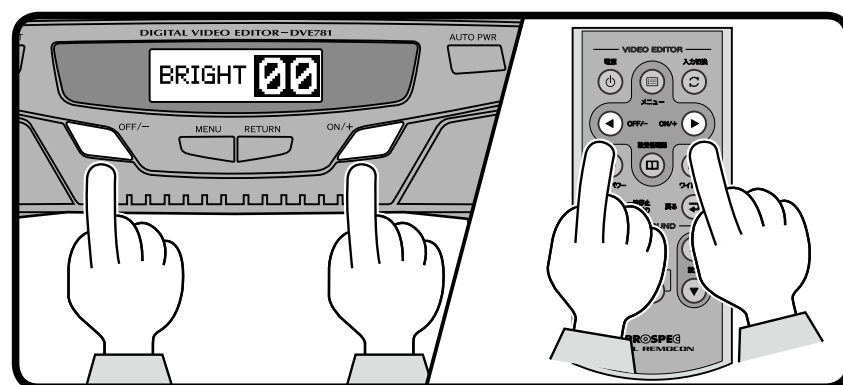
・録画目的で入力した映像ソースをメニュー画面で調整した場合、調整された状態の映像が録画されます。

■ メニュー項目の説明

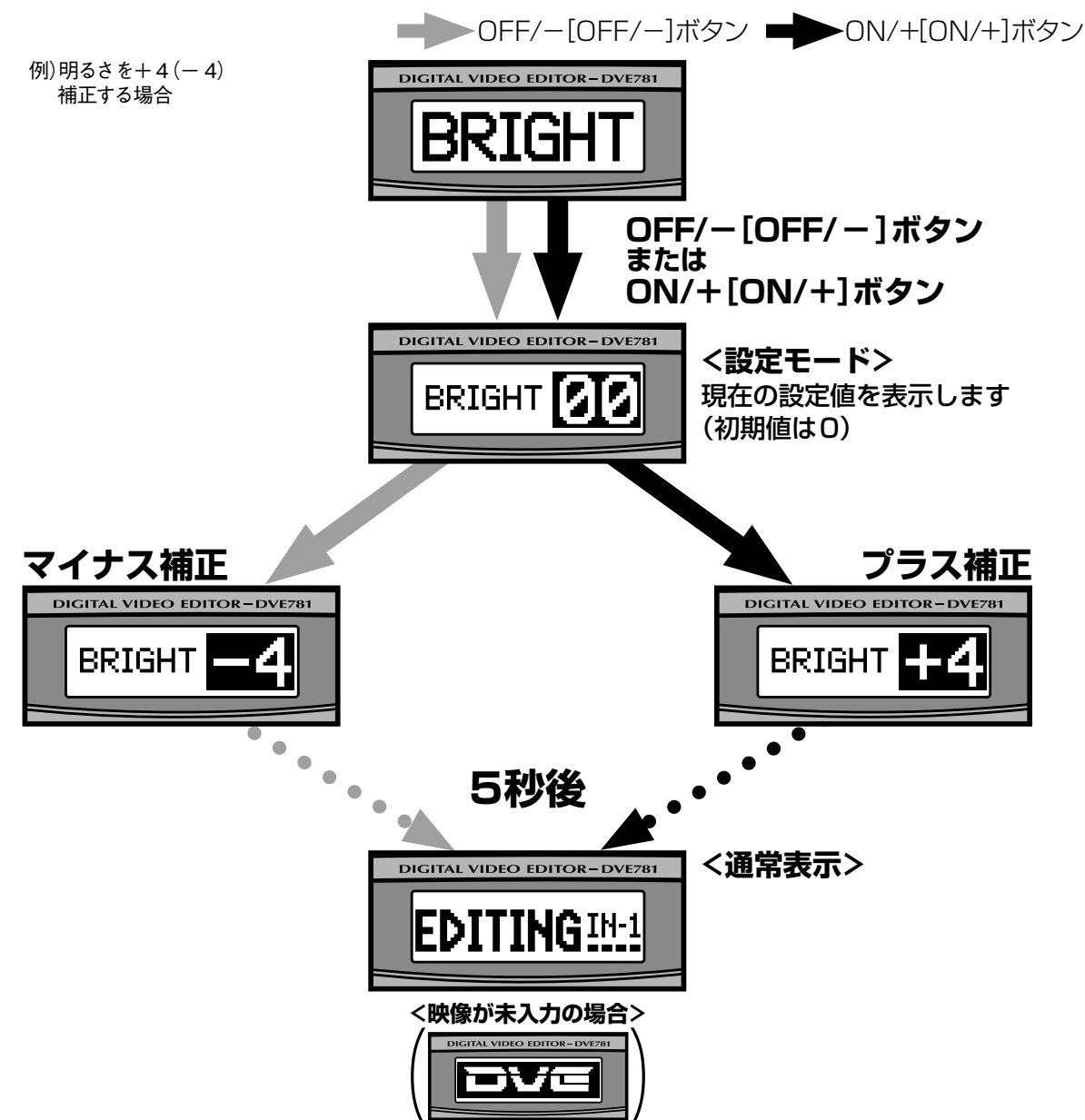
明るさ調整

［初期値：0］［調整範囲：−5 ～+5］

1 「BRIGHT」を表示させる。（☞9 ～10 ページ）

2 OFF/−［OFF/−］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、明るさの設定を変更できる。

●**効　　果**：入力した映像の輝度を調整して出力します。

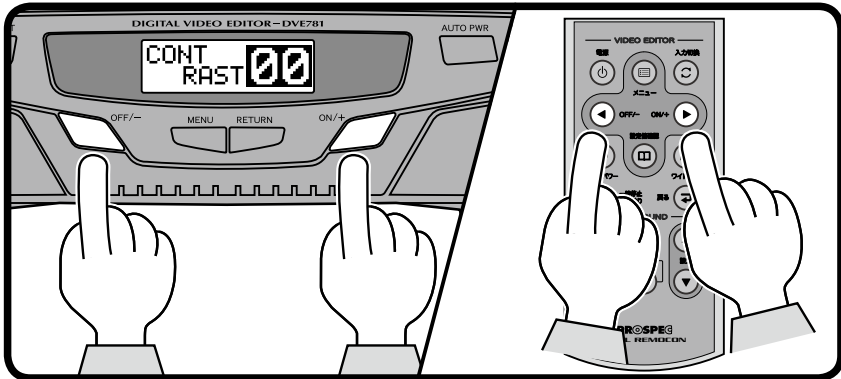
●**使用用途**：暗すぎるまたは明るすぎる映像を最適な明るさに調整できます。

●**調整方法**：**プラス(＋)側**に調整すると全体的に明るくなっていきます。
　　　　　　マイナス(−)側に調整すると全体的に暗くなっていきます。

明るさ調整−4 の表示	明るさ調整なし の表示	明るさ調整+4 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781 BRIGHT −4	DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781 BRIGHT 00	DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781 BRIGHT +4

コントラスト調整

［初期値:0］［調整範囲:−5 〜+5］

1 **「CONTRAST」を表示させる。（☞9 〜10 ページ）**

2 **OFF/−［OFF/−］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、コントラストの設定を変更できる。**

●効　果：入力した映像の明暗比を調整して出力します。

●使用用途：暗い部分と明るい部分の差が大きくまぶしく見える場合や、暗い部分と明るい部分の境目が分かりにくい場合に見やすい映像に調整できます。

●調整方法：**プラス(＋)側**に調整すると明るい部分がより明るくなっていきます。
マイナス(−)側に調整すると明るい部分が暗くなっていきます。

OFF/−［OFF/−］ボタン　ON/＋［ON/＋］ボタン

例）コントラストを＋3（−3）補正する場合

DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
CONTRAST

OFF/−［OFF/−］ボタン
または
ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
CONT RAST 00

<設定モード>
現在の設定値を表示します
（初期値は0）

マイナス補正

DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
CONT RAST −3

プラス補正

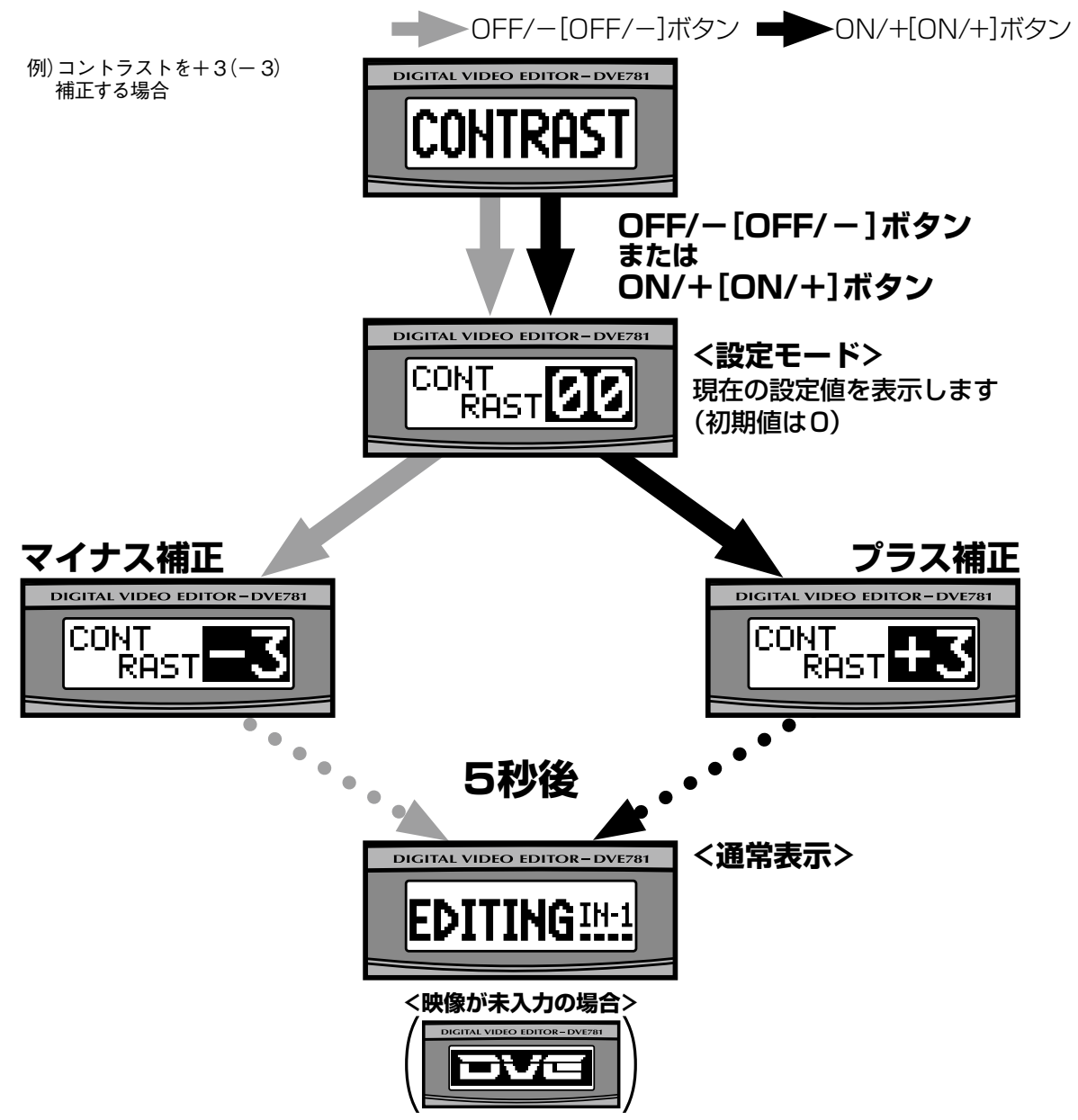
DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
CONT RAST +3

5秒後

DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
EDITING IN-1

<通常表示>

<映像が未入力の場合>

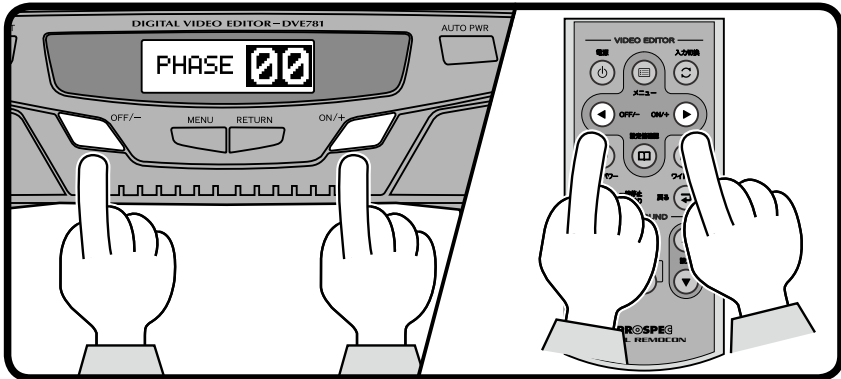
DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
DVE

コントラスト調整−3 の表示	コントラスト調整なし の表示	コントラスト調整+3 の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781 CONT RAST −3	DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781 CONT RAST 00	DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781 CONT RAST +3

ご使用方法 -基本編-
ご使用方法 -応用編-
ご使用方法 -上級編-
接続の前に
接続のしかた -基本編-
接続のしかた -応用編-

色あい調整

［初期値:0］［調整範囲:－5 ～+5］

1 「PHASE」を表示させる。（☞9 ～10 ページ）

2 OFF/－［OFF/－］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、色あいの設定を変更できる。

●**効　　果**：入力した映像の色バランスを調整して出力します。

●**使用用途**：人肌の色などが不自然な場合、自然な色に調整できます。

●**調整方法**：**プラス(＋)側**に調整すると全体的に赤色に近づいていきます。
マイナス(－)側に調整すると緑色に近づいていきます。

OFF/－［OFF/－］ボタン　ON/+［ON/+］ボタン

例）色あいを＋1（－1）補正する場合

PHASE

OFF/－［OFF/－］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタン

PHASE 00

<設定モード>
現在の設定値を表示します（初期値は0）

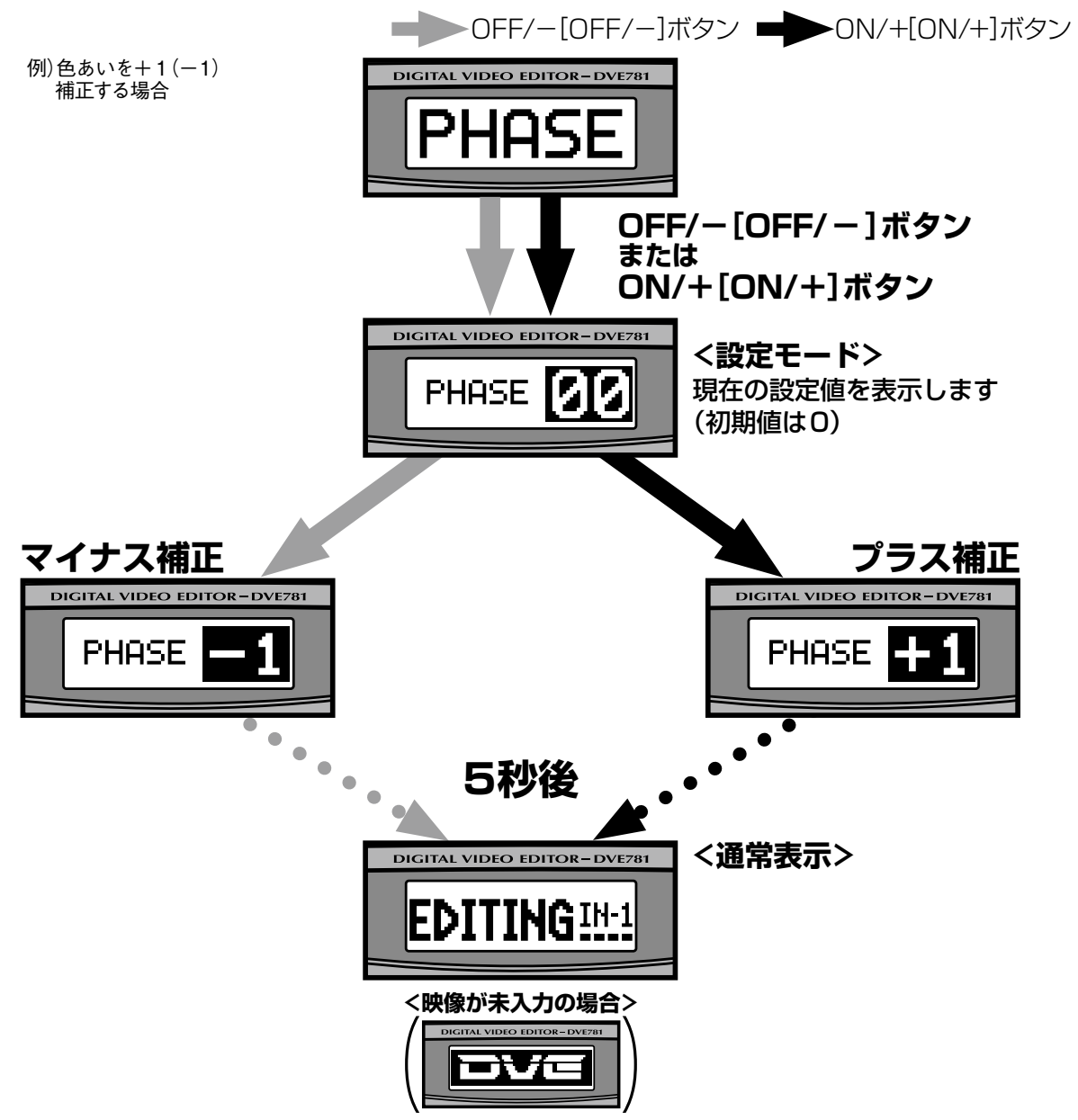
マイナス補正 PHASE －1

プラス補正 PHASE ＋1

5秒後

EDITING IN-1

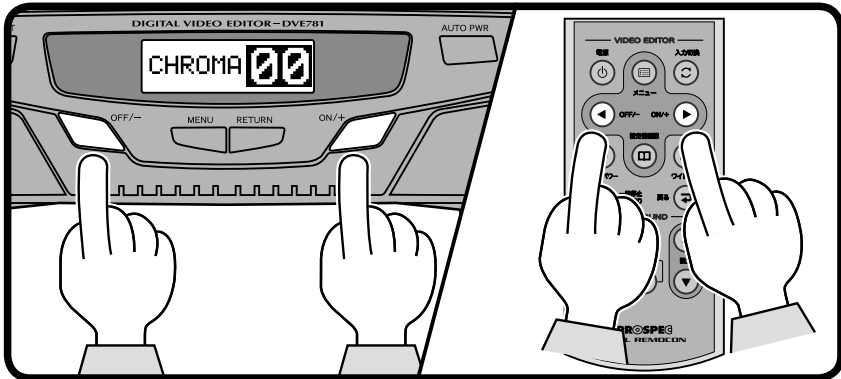
<通常表示>

<映像が未入力の場合>
DVE

色あい調整－1 の表示	色あい調整なし の表示	色あい調整＋1 の表示
PHASE －1	PHASE 00	PHASE ＋1

クロマ調整

[初期値:0] [調整範囲:−5 〜+5]

1 「CHROMA」を表示させる。（☞9 〜10 ページ）

2 OFF/−[OFF/−]ボタン または ON/＋[ON/＋]ボタンを押すと、色あいの設定を変更できる。

●**効　　果**：入力した映像の色の濃さを調整して出力します。

●**使用用途**：色あせた古いビデオテープの映像や色の濃すぎる映像の色濃度を調整できます。

●**調整方法**：**プラス(＋)側**に調整すると全体的に色が濃くなっていきます。
マイナス(−)側に調整すると色が薄くなるとともに白黒映像に近づいていきます。

OFF/−[OFF/−]ボタン　ON/+[ON/+]ボタン

例）クロマを＋2（−2）補正する場合

DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
CHROMA

OFF/−[OFF/−]ボタン または ON/＋[ON/＋]ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR−DVE781
CHROMA 00

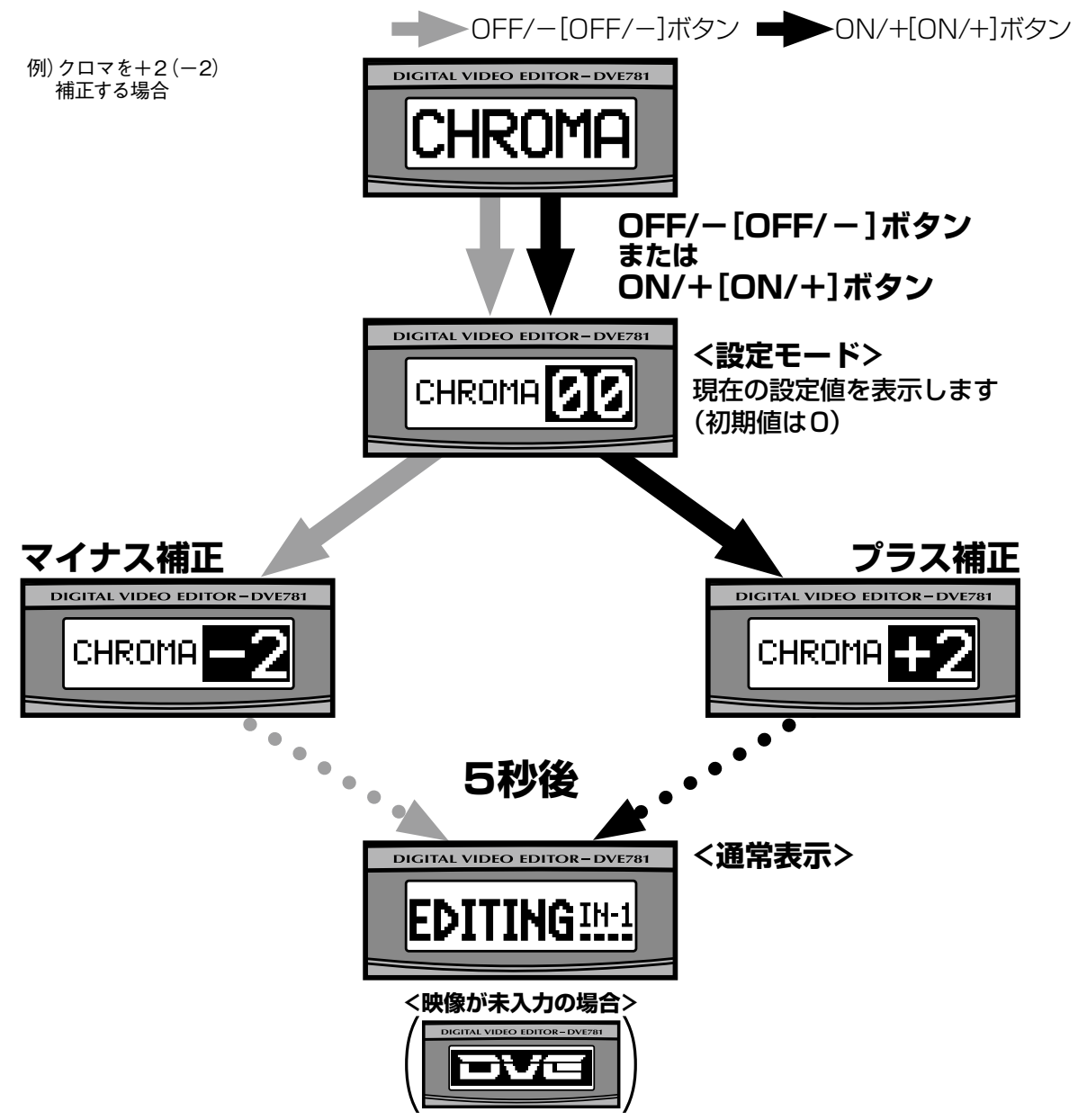
<設定モード>
現在の設定値を表示します（初期値は0）

マイナス補正
CHROMA −2

プラス補正
CHROMA +2

5秒後

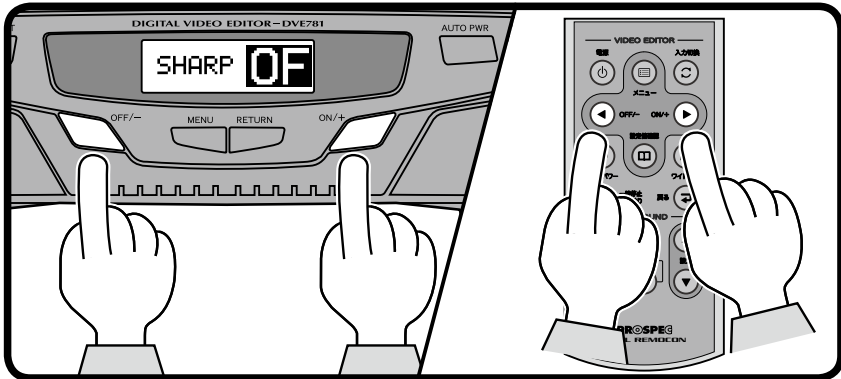
<通常表示>
EDITING IN-1

<映像が未入力の場合>
DVE

クロマ調整−2 の表示	クロマ調整なし の表示	クロマ調整+2 の表示
CHROMA −2	CHROMA 00	CHROMA +2

画質補正

［初期値：OFF］［設定範囲：OFF/ON］

1 「SHARP」を表示させる。（☞ 9～10 ページ）

2 OFF/－[OFF/－]ボタン または ON/＋[ON/＋]ボタンを押すと、表示しているメニュー項目の設定を変更できる。

●**効　果**：入力した映像にシャープさを加えて出力します。

●**使用用途**：映像が全体的にぼやけていると感じた場合に境目がはっきりとした見やすい映像に設定できます。

●**設定方法**：**「ON」**に設定すると輪郭を強調した映像になります。主に VHS（アナログメディア）の映像を編集するときに設定します。
「OFF」に設定すると輪郭を強調しない映像になります。主に DVD（デジタルメディア）の映像を編集するときに設定します。

OFF/－[OFF/－]ボタン　ON/＋[ON/＋]ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
SHARP

OFF/－[OFF/－]ボタン または ON/＋[ON/＋]ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
SHARP OF

<設定モード>
現在の設定値を表示します
（初期値はOFF）

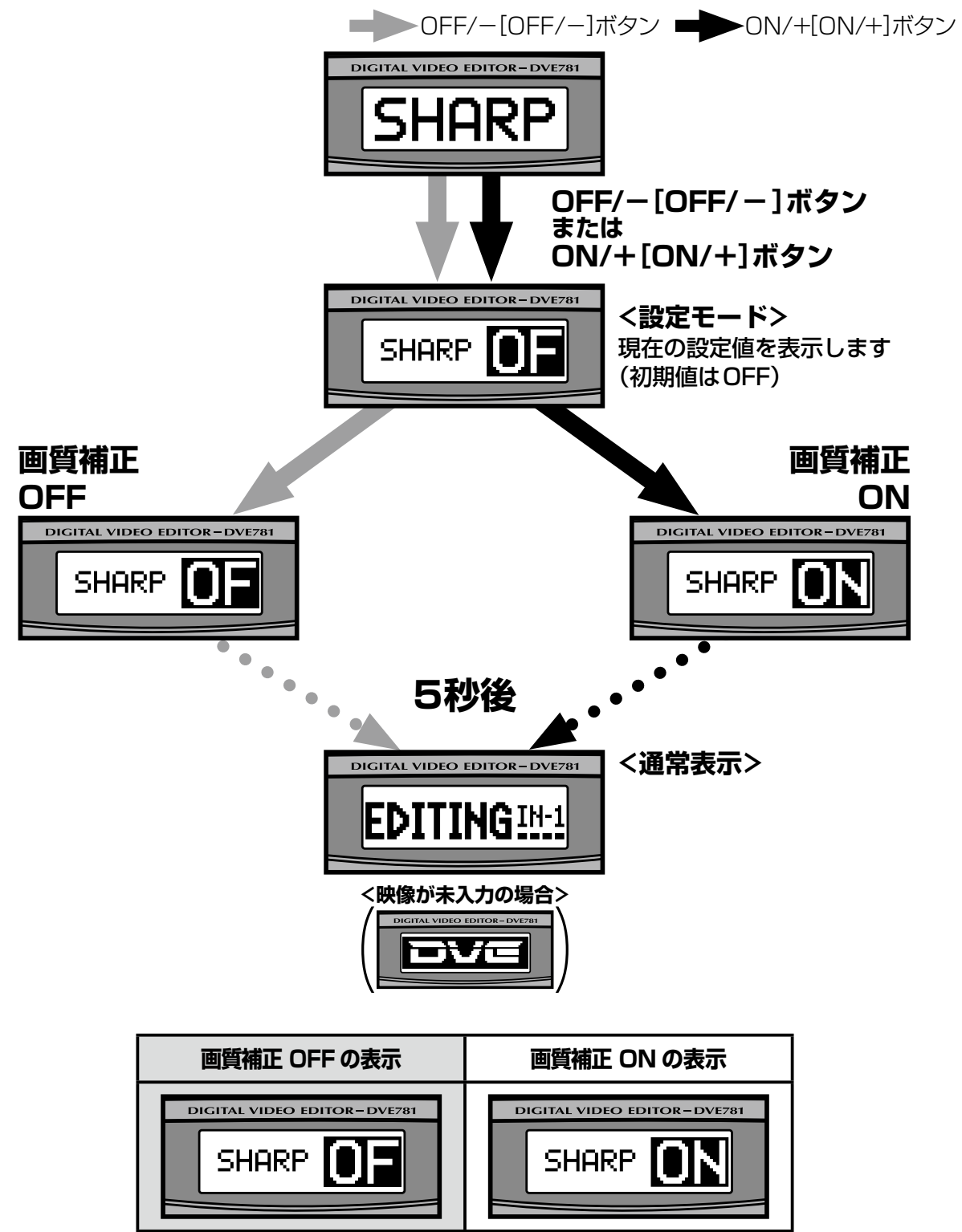
画質補正 OFF
SHARP OF

画質補正 ON
SHARP ON

5秒後

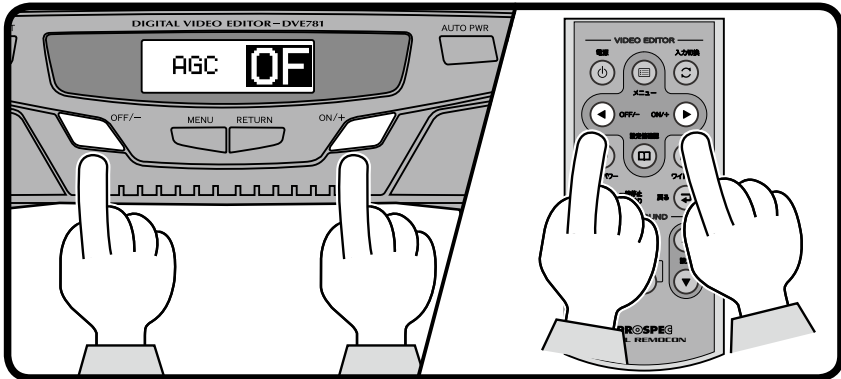
<通常表示>
EDITING IN-1

<映像が未入力の場合>
（DVE）

画質補正 OFF の表示	画質補正 ON の表示
SHARP OF	SHARP ON

AGC（オートゲインコントロール）設定

［初期値：OFF］［設定範囲：OFF/ON］

1 「 AGC 」を表示させる。（☞9 ～10 ページ）

2 OFF/－［OFF/－］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、AGCの設定を変更できる。

●**効　　果**：入力した映像信号を最適値に変換して出力します。

●**使用用途**：入力した映像が明るすぎる、または暗すぎると感じた場合に使用します。

●**設定方法**：**「ON」**に設定すると映像信号を自動調整します。
「OFF」に設定すると自動調整はおこないません。

※「ON」に設定すると、他の映像調整機能の効果が分かりにくくなる場合があります。

OFF/－［OFF/－］ボタン　ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
AGC

OFF/－［OFF/－］ボタン
または
ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
AGC OF

<設定モード>
現在の設定値を表示します
（初期値はOFF）

AGC OFF
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
AGC OF

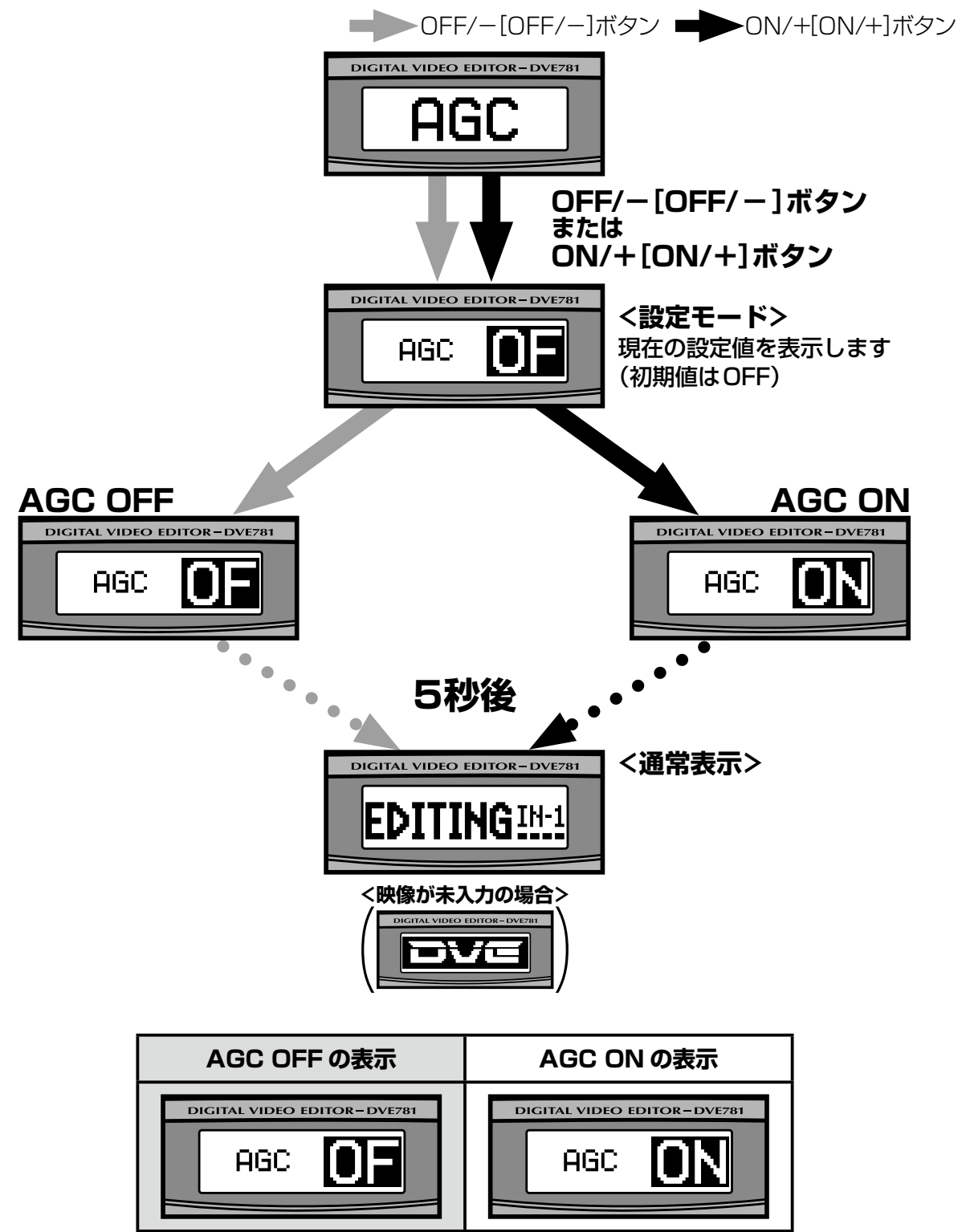
AGC ON
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
AGC ON

5秒後

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
EDITING IN-1

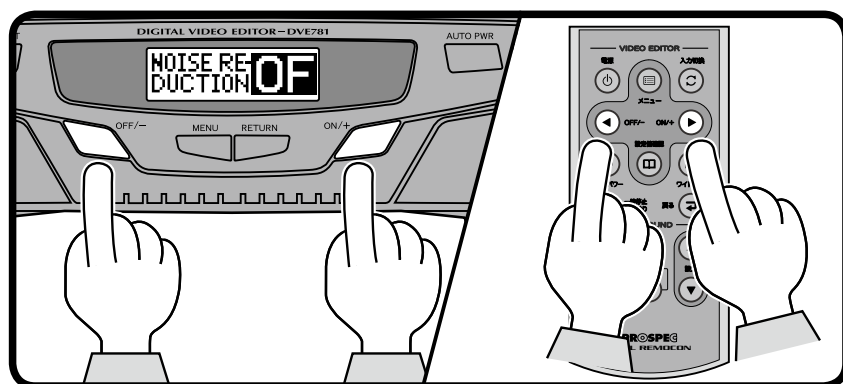
<通常表示>

<映像が未入力の場合>
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
DVE

AGC OFF の表示	AGC ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 AGC OF	DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 AGC ON

3Dノイズリダクション設定

［初期値：OFF］［設定範囲：OFF/ON］

1 「NOISE RE.」を表示させる。（☞9 〜10 ページ）

2 OFF/−［OFF/−］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、3Dノイズリダクションの設定を変更できる。

●**効　果**：主にVHSや8mmビデオなどアナログ映像に含まれている、ブロックノイズやざらつきノイズを低減します。

●**使用用途**：アナログ映像の編集時にノイズが目立つ場合に使用します。

●**設定方法**：**「ON」**に設定するとノイズ低減処理をおこなってから映像を出力します。
「OFF」に設定するとノイズ低減処理をおこなわずにそのまま出力します。

OFF/−［OFF/−］ボタン　ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
NOISE RE.

OFF/−［OFF/−］ボタン
または
ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
NOISE RE-DUCTION OF

<設定モード>
現在の設定値を表示します
（初期値はOFF）

ノイズリダクション OFF

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
NOISE RE-DUCTION OF

ノイズリダクション ON

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
NOISE RE-DUCTION ON

5秒後

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
EDITING IN-1

<通常表示>

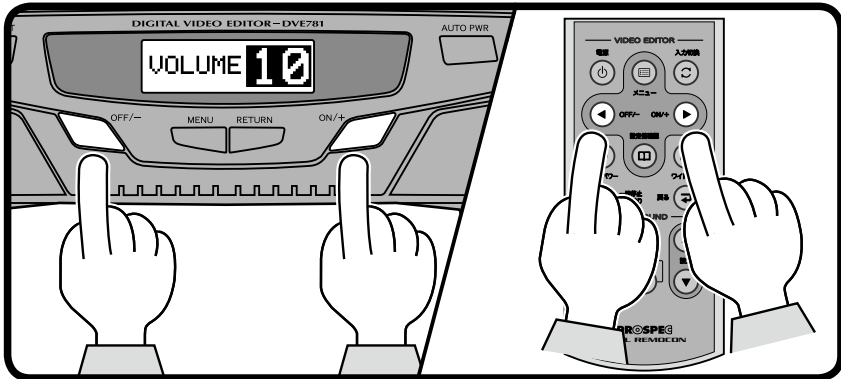
<映像が未入力の場合>
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
DVE

ノイズリダクション OFF の表示	ノイズリダクション ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 NOISE RE-DUCTION OF	DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 NOISE RE-DUCTION ON

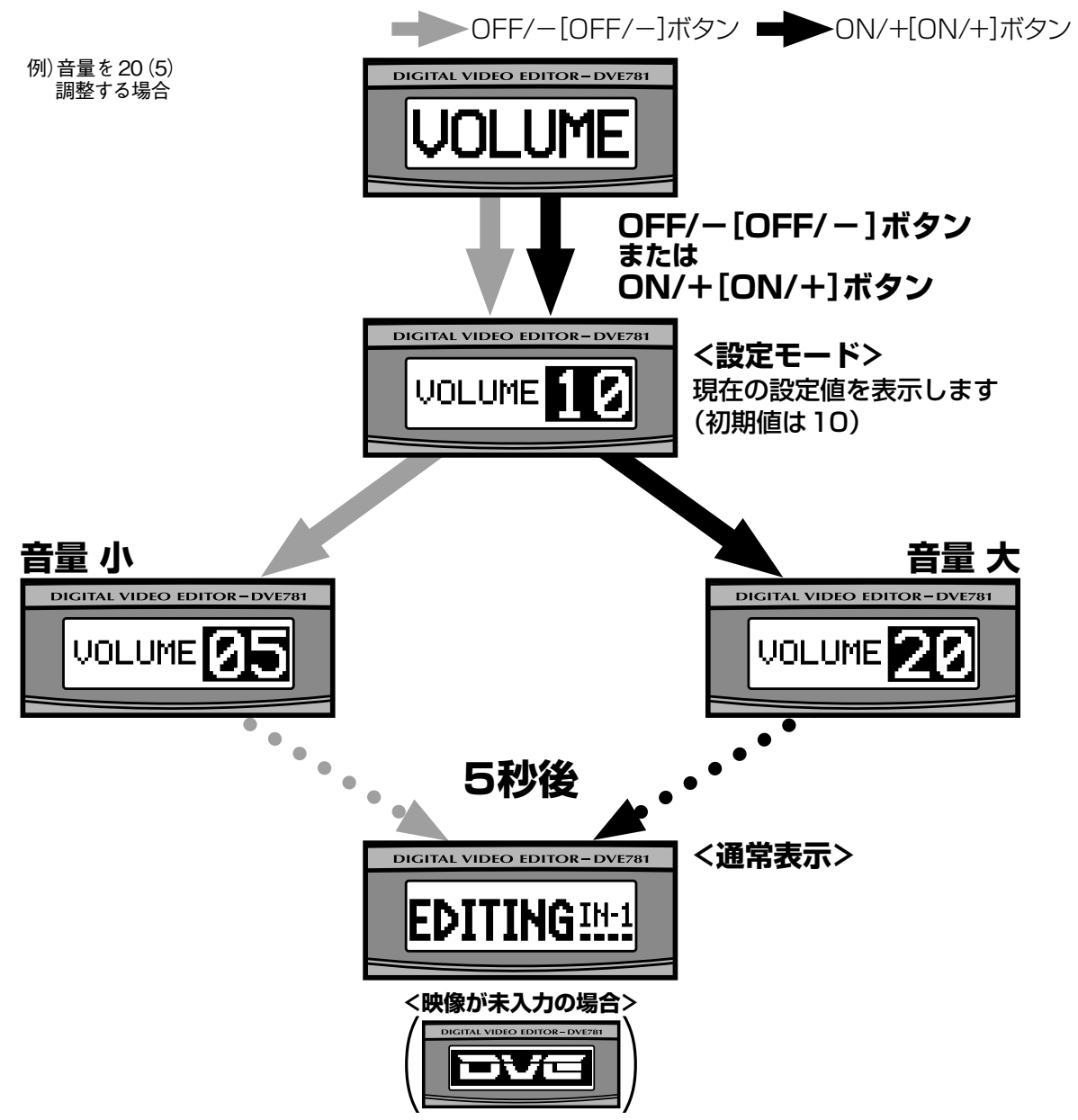
音量調整

［初期値：10］［調整範囲：0～20］

1 「VOLUME」を表示させる。（☞ 9～10 ページ）

2 OFF/−［OFF/−］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、音量設定を変更できる。

●**効　　果**：入力した音声を増減します。

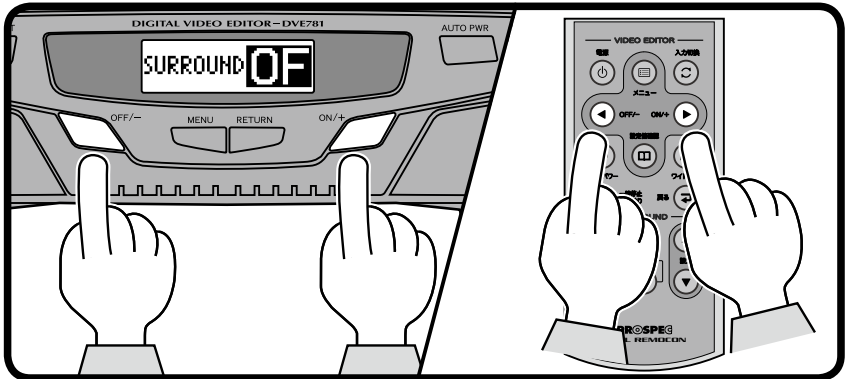
●**使用用途**：入力した音声が大きすぎる、または小さすぎると感じた場合に使用します。

●**調整方法**：設定値が大きくなると音量が大きく、設定値が小さくなると音量が小さくなります。（１０に設定すると入力した音量で出力されます）

音量調整 5 の表示	音量調整なし の表示	音量調整 20 の表示
VOLUME 05	VOLUME 10	VOLUME 20

サラウンド設定

［初期値：OFF］［設定範囲：OFF/ON］

1 「SURROUND」を表示させる。（☞ 9～10 ページ）

2 OFF/－［OFF/－］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、サラウンドの設定を変更できる。

●**効　果**：入力した音声にサラウンド効果を加えて出力できます。

●**使用用途**：音声に臨場感や広がり感を持たせたいときに使用します。

●**設定方法**：**「ON」**に設定すると出力音声にサラウンド効果が加わります。
「OFF」に設定すると入力した音声がそのまま出力されます。

・録画中にサラウンド設定を ON にすると、サラウンド効果が加わったまま録画されます。

OFF/－［OFF/－］ボタン　ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
SURROUND

**OFF/－［OFF/－］ボタン
または
ON/＋［ON/＋］ボタン**

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
SURROUND OF

<設定モード>
現在の設定値を表示します
（初期値はOFF）

サラウンド設定 OFF

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
SURROUND OF

サラウンド設定 ON

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
SURROUND ON

5秒後

<通常表示>

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
EDITING IN-1

<映像が未入力の場合>

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
DVE

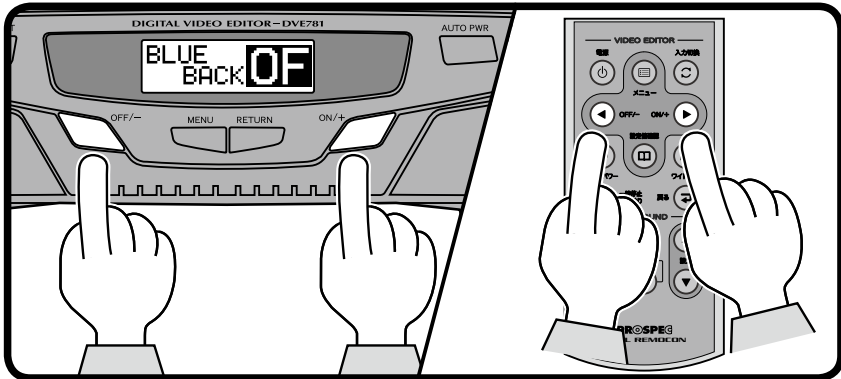
サラウンド設定 OFF の表示	サラウンド設定 ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 SURROUND OF	DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 SURROUND ON

ご使用方法 -基本編-
ご使用方法 -応用編-
ご使用方法 -上級編-
接続の前に
接続のしかた -基本編-
接続のしかた -応用編-

ブルーバック出力設定

［初期値:OFF］［設定範囲:OFF/ON］

1 「BLUEBACK」を表示させる。（☞9 〜10 ページ）

2 OFF/ー［OFF/ー］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、ブルーバック出力の設定を変更できる。

●**効　果**：映像信号が入力されないときに、ブルーバック信号を出力するかしないかを選択できます。

●**使用用途**：映像信号が入力されたときに自動的に録画を開始する録画機器(オート REC 対応録画機)を使用する際、「OFF」に設定します。

●**設定方法**：**「ON」**に設定するとブルーバック信号を出力します。
「OFF」に設定するとブルーバック信号を出力しません。

OFF/ー［OFF/ー］ボタン　ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
BLUEBACK

OFF/ー［OFF/ー］ボタン
または
ON/＋［ON/＋］ボタン

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
BLUE BACK OF

<設定モード>
現在の設定値を表示します
（初期値はOFF）

ブルーバック OFF

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
BLUE BACK OF

ブルーバック ON

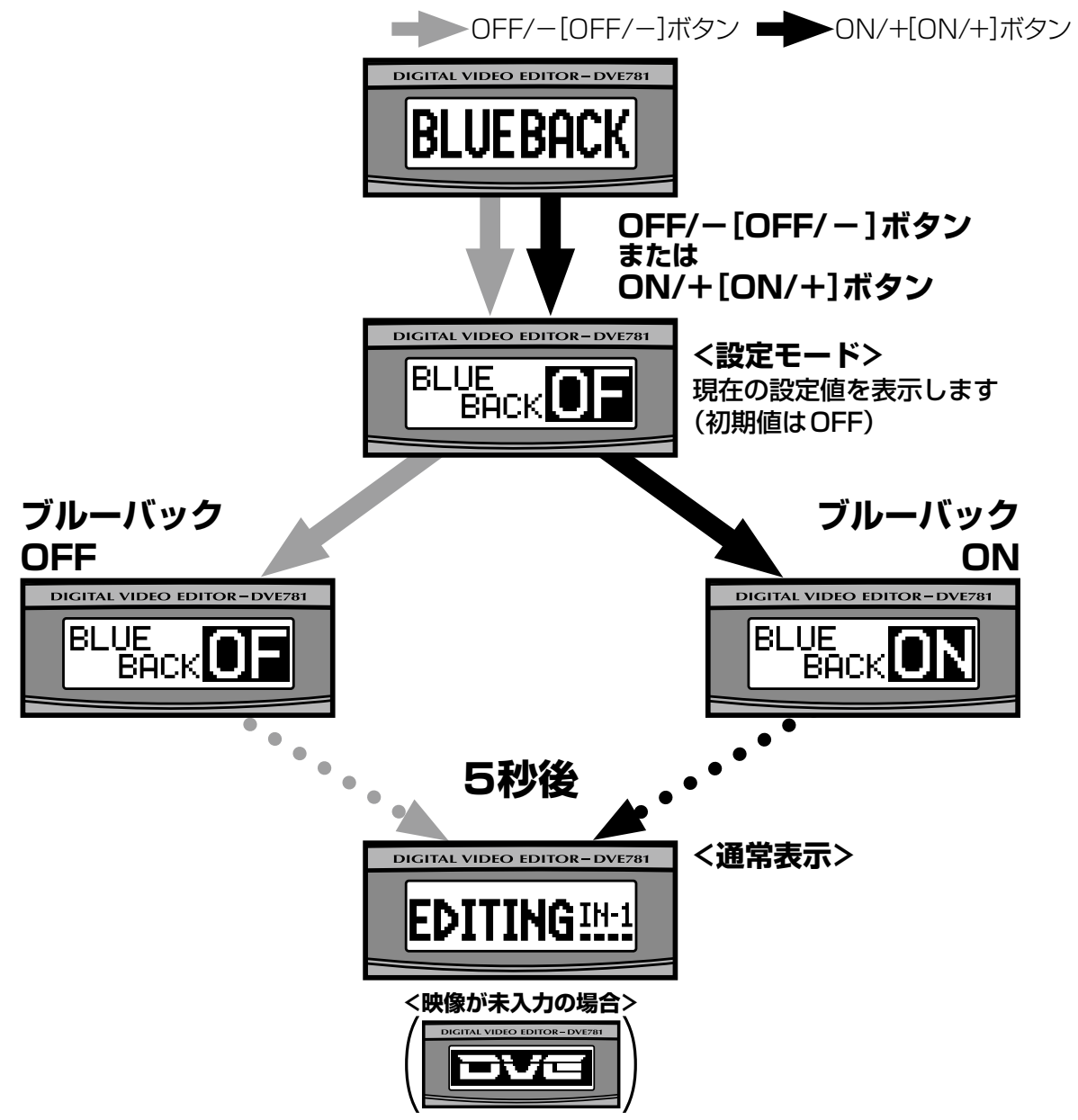
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
BLUE BACK ON

5秒後

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
EDITING IN-1

<通常表示>

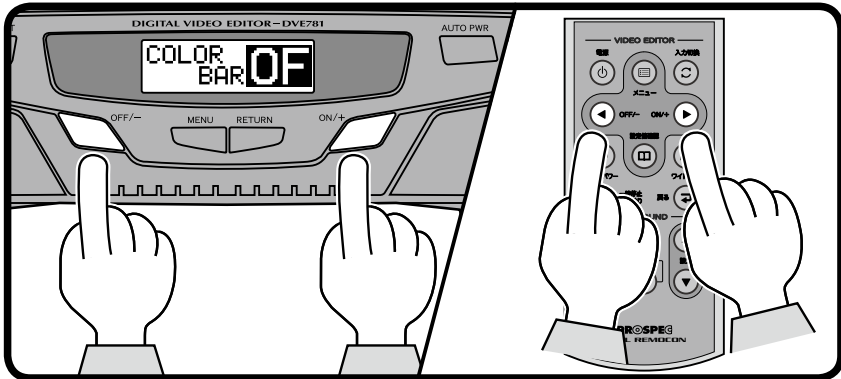
<映像が未入力の場合>

DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781
DVE

ブルーバック OFF の表示	ブルーバック ON の表示
DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 BLUE BACK OF	DIGITAL VIDEO EDITOR－DVE781 BLUE BACK ON

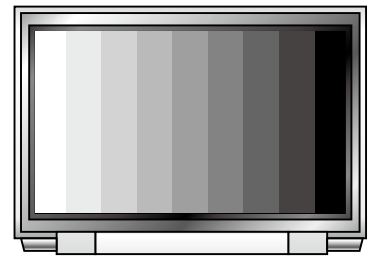
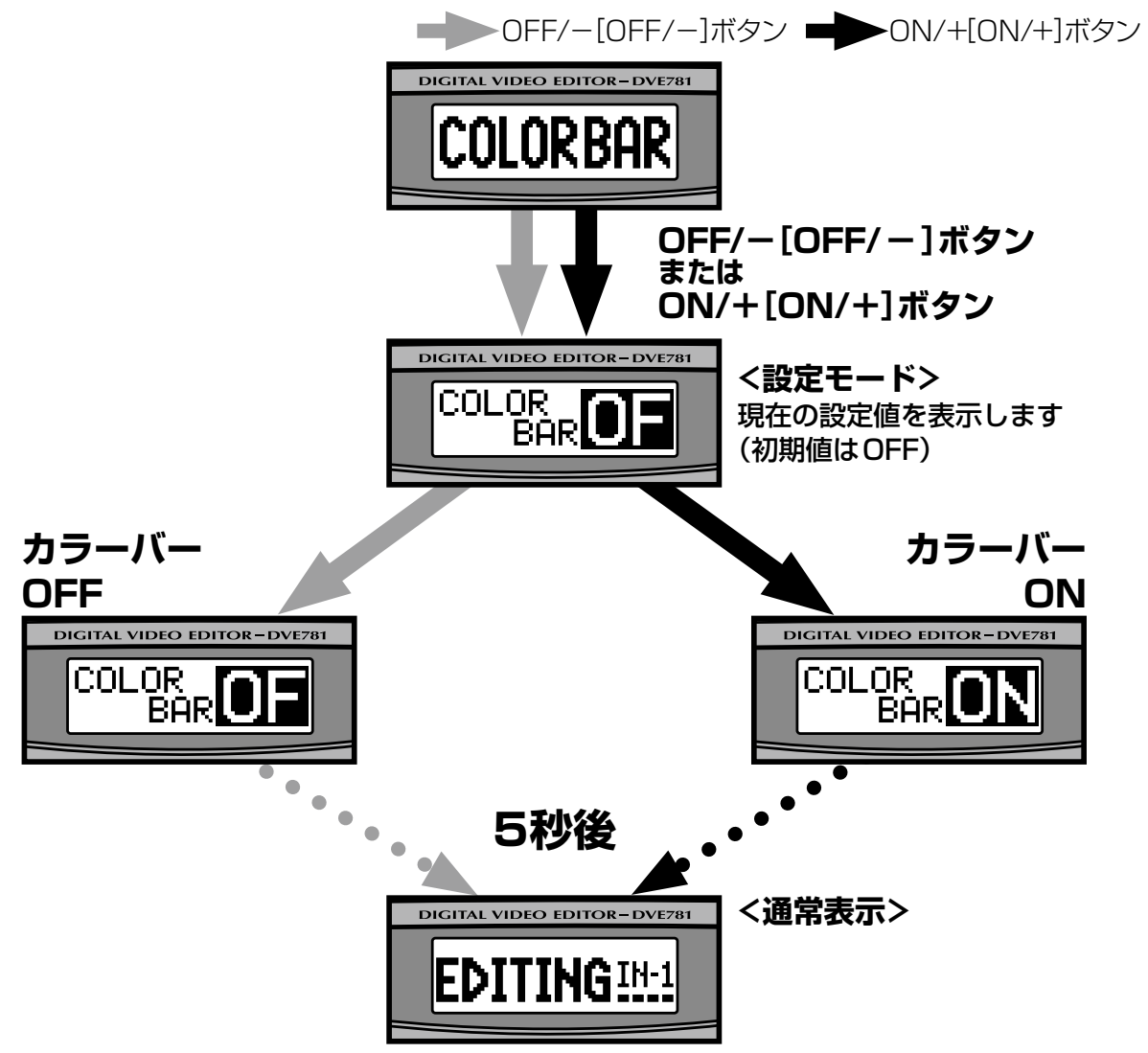
カラーバー出力設定

［初期値：OFF］［設定範囲：OFF/ON］

1 「COLORBAR」を表示させる。（☞9 ～10 ページ）

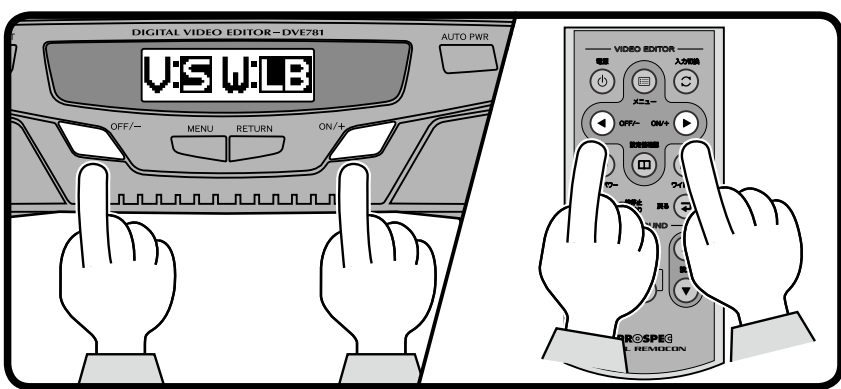
2 OFF/－［OFF/－］ボタン または ON/＋［ON/＋］ボタンを押すと、カラーバー出力の設定を変更できる。

●**効　　果**：カラーバー信号を出力します。

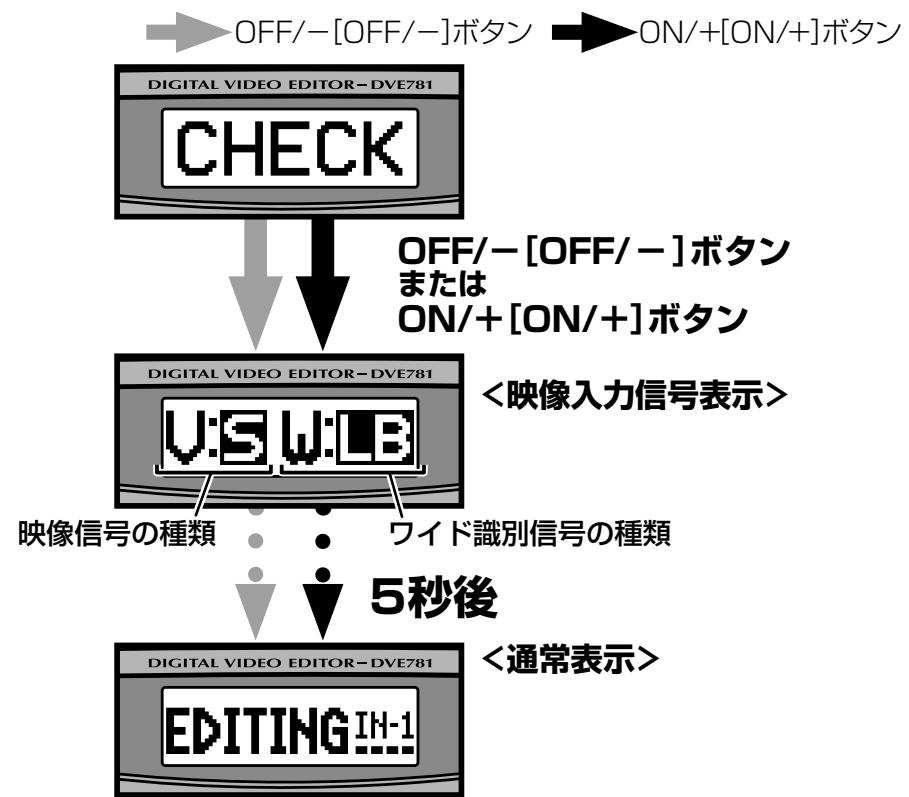
●**使用用途**：モニターの色調整の際に表示させて使用します。録画するときに最初の5秒間ほど録画しておくと、モニターを変えたときに色調整の基準にできます。

●**設定方法**：**「ON」**に設定するとカラーバー信号を出力します。
「OFF」に設定するとカラーバー信号を出力しません。

・カラーバー出力中に他のスイッチを押したり電源を切ったりすると、自動的にカラーバー出力がOFFになります。

カラーバー OFF の表示	カラーバー ON の表示

映像入力信号チェック機能

1 「CHECK」を表示させる。（☞9～10ページ）

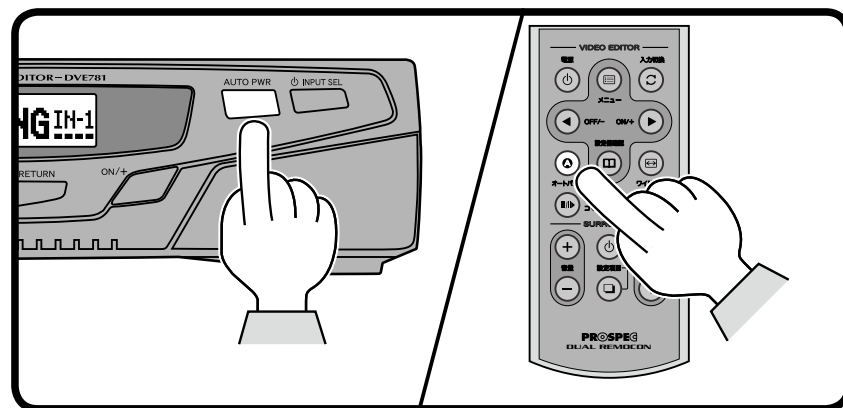
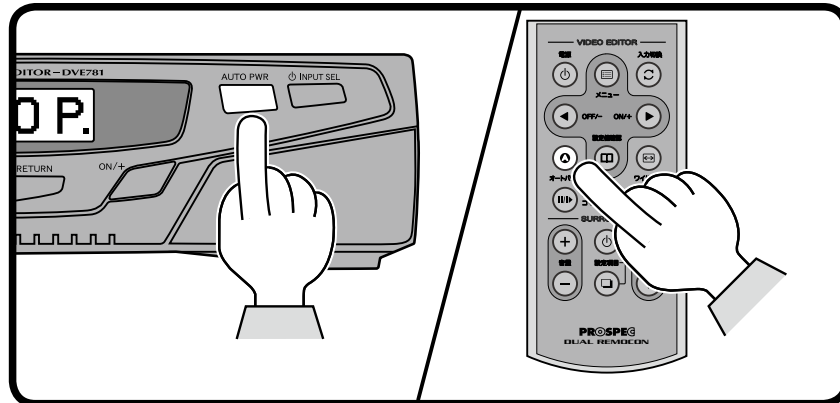
2 OFF/－[OFF/－]ボタン または ON/＋[ON/＋]ボタンを押すと、入力している映像信号の種類とワイド識別信号の種類を表示する。

●効　果：現在入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認できます。

●使用用途：現在入力している映像信号の種類およびワイド識別信号の種類を確認したいときに使用します。

映像信号		
S端子（セパレート信号）入力の表示	ピン端子（コンポジット信号）入力の表示	映像入力信号がない時 の表示
V:S W:LB	V:C W:LB	V:－ W:－

ワイド識別信号		
レターボックス信号 の表示	スクイーズ信号 の表示	ワイド識別信号がない時 の表示
V:S W:LB	V:S W:SQ	V:S W:－

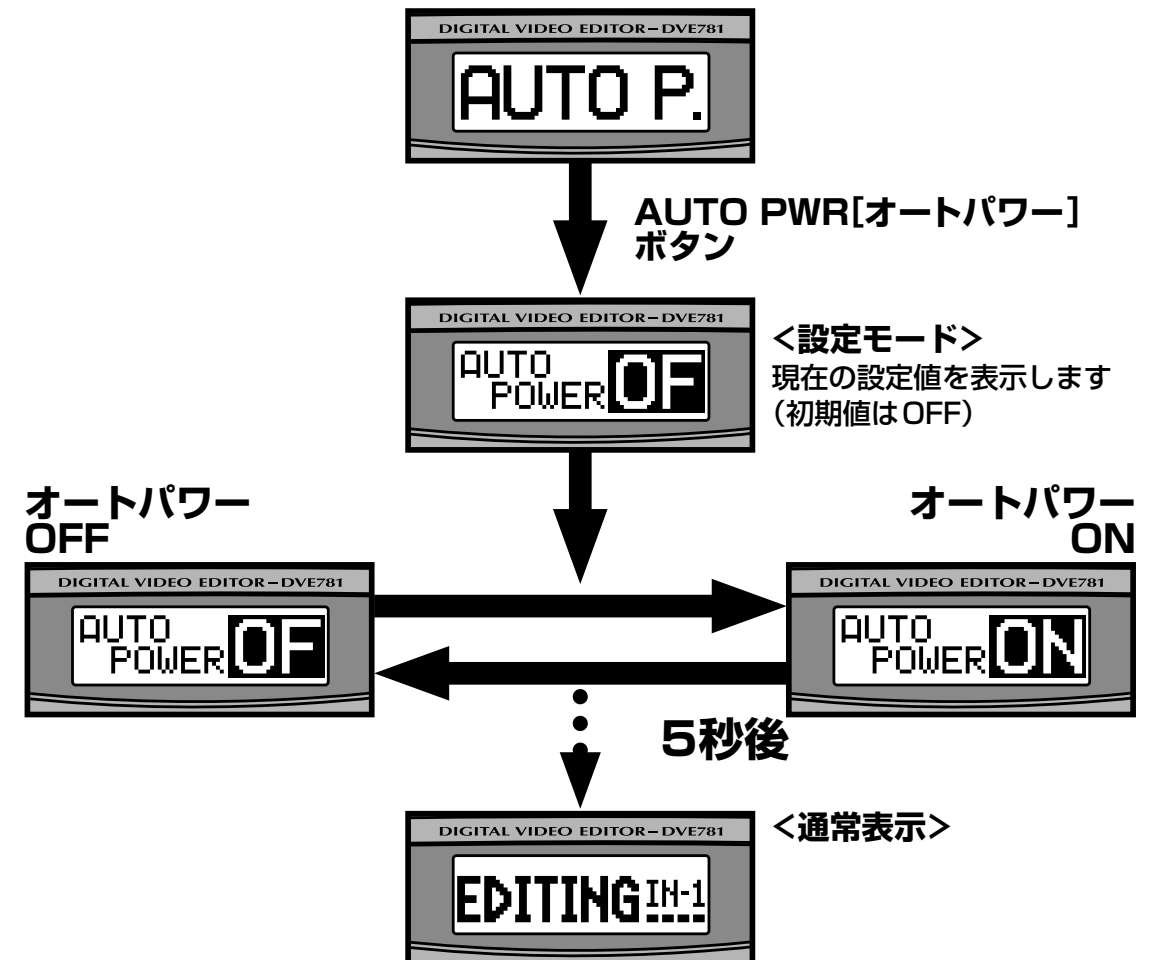
オートパワー設定

［初期値：OFF］［設定範囲：OFF/ON］

1 AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押して「AUTO P.」を表示させ、もう一度AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押すと、現在のオートパワー設定値を表示する。

2 AUTO PWR[オートパワー]ボタンを押すごとに、オートパワーの設定を変更できる。

●効　果：映像信号を入力すると自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。（条件：AC アダプター接続）

●使用用途：主に録画機のオート REC 機能※使用時に使用します。

●設定方法：「ON」に設定すると映像信号を入力したと同時に自動的に電源が入り、映像信号が入力されなくなると自動的に電源が切れます。
「OFF」に設定すると映像信号を入力しても自動的に電源は入りません。

※映像信号を入力すると自動的に録画を開始するレコーダーの機能

オートパワーON設定後の動作

1. 入力系統を選んでから再生機器の電源を切る。
2. 本機の⏻ INPUT SEL[電源]ボタンを押して、電源を切る。
3. ディスプレイが消灯し、「wait」が順に点灯することを確認する。同時に選択してある入力系統も表示される。

4. 再生機器の電源が入ると本機の電源も連動して入り、再生機器の電源が切れると 3 の状態に戻る。

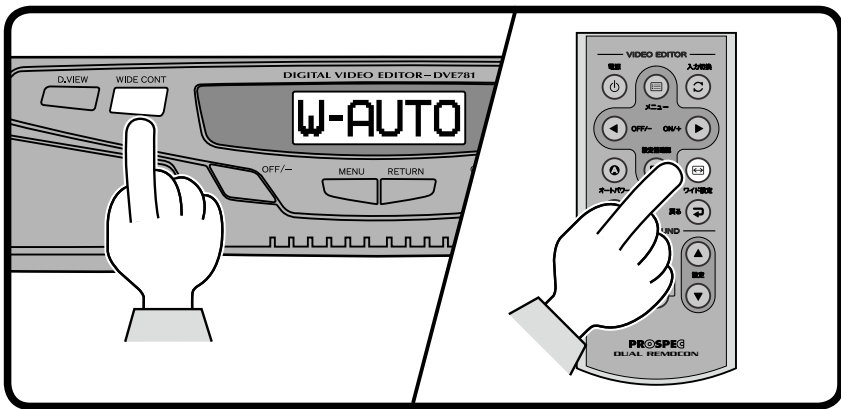
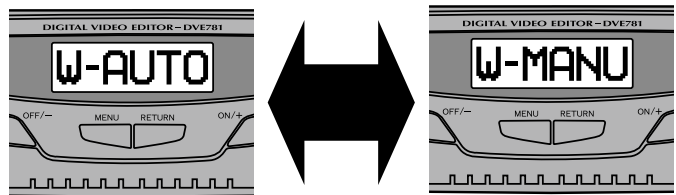
ワンポイント

- AC アダプターは接続しておいてください。
- 映像が入力されてから本機の動作が開始されるまでに約2秒かかります。
- オートパワー機能をONにした状態で、映像を入力したまま⏻INPUT SEL[電源]ボタンを押しても電源は切れません（オートパワー機能が働いているため）。

ご使用方法 -上級編-

必ず基本編・応用編をご理解頂いてからご使用ください

ワイド識別信号コントロール機能

1 WIDE CONT[ワイド設定]ボタンを押すと、現在のワイド識別信号コントロールの設定を表示する。

2 WIDE CONT[ワイド設定]ボタンを押すごとに、ワイド識別信号出力コントロールのオート/マニュアルを設定できる。

3 マニュアルに設定した場合、OFF/−[OFF/−]ボタンまたはON/+[ON/+]ボタンを押すと、出力するワイド識別信号を変更できる。

●効　果：ワイド識別信号の出力方法を選択します。

●使用用途：通常の使用では「W-AUTO」(オート)、ワイド識別信号をマニュアル出力する場合は「W-MANU」(マニュアル)に設定します。

●出力方法：**「オート」**に設定すると、入力されたワイド識別信号をそのまま出力します(ワイド識別信号が入力されない場合はワイド識別信号を出力しません)。

「マニュアル」に設定すると、出力するワイド識別信号を選択できます。
「W-ALL」に設定すると、全てのワイド識別信号(S1/S2/ID-1)を出力します。
「W-S1S2」に設定すると、ワイド識別信号S1·S2を出力します。
「W-ID-1」に設定すると、ワイド識別信号ID-1を出力します。
「W-DEL」に設定すると、入力したワイド識別信号を除去します。

ワンポイント

・録画機またはテレビが特定のワイド識別信号のみを認識する場合や、入力したワイド識別信号が録画機またはテレビが認識できるワイド識別信号と一致しない場合に、特定のワイド識別信号を選択して出力するよう設定します。
・ワイド識別信号を含んだ映像では高速ダビングができない機種で高速ダビングをおこないたいとき、ワイド識別信号を除去すれば高速ダビングが可能になります。

WIDE CONT[ワイド設定]ボタン
ON/+[ON/+]ボタン
OFF/−[OFF/−]ボタン

EDITING IN-1

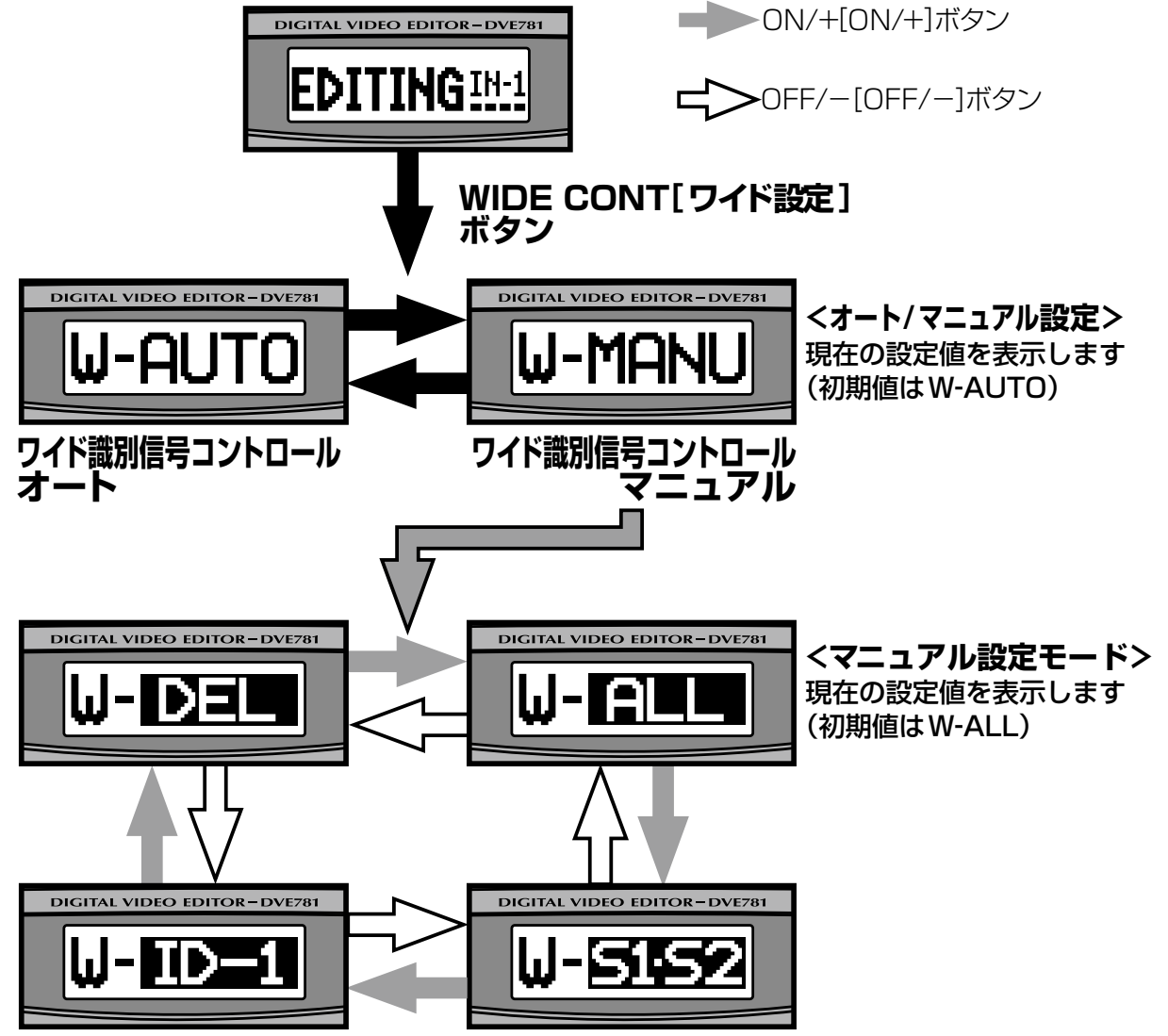
WIDE CONT[ワイド設定]ボタン

W-AUTO ⇄ W-MANU

ワイド識別信号コントロール オート
ワイド識別信号コントロール マニュアル

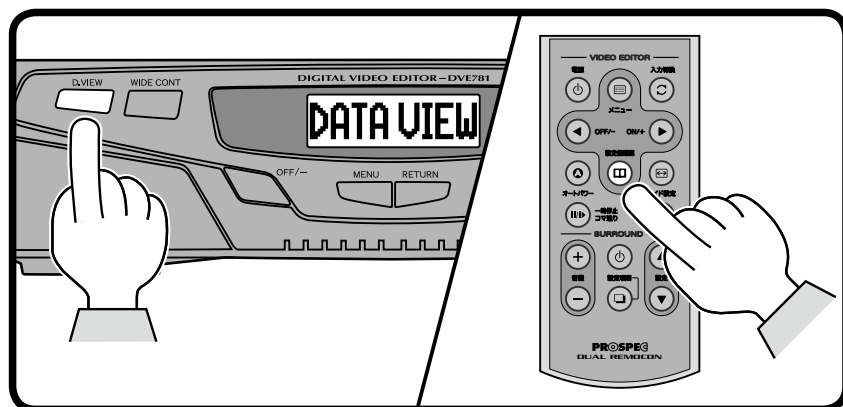
<オート/マニュアル設定>
現在の設定値を表示します
(初期値はW-AUTO)

W-DEL　W-ALL　W-ID-1　W-S1S2

<マニュアル設定モード>
現在の設定値を表示します
(初期値はW-ALL)

ワイド識別信コントロール オートの表示	ワイド識別信コントロール マニュアルの表示
W-AUTO	W-MANU

ID-1/S1/S2出力の表示	S1/S2出力 の表示	ID-1出力 の表示	入力ワイド識別信号除去の表示
W-ALL	W-S1S2	W-ID-1	W-DEL

データビュー機能

1 D.VIEW[設定値確認]ボタンを押す。

2 各設定値を順に表示する。項目が一巡すると通常表示に戻る。

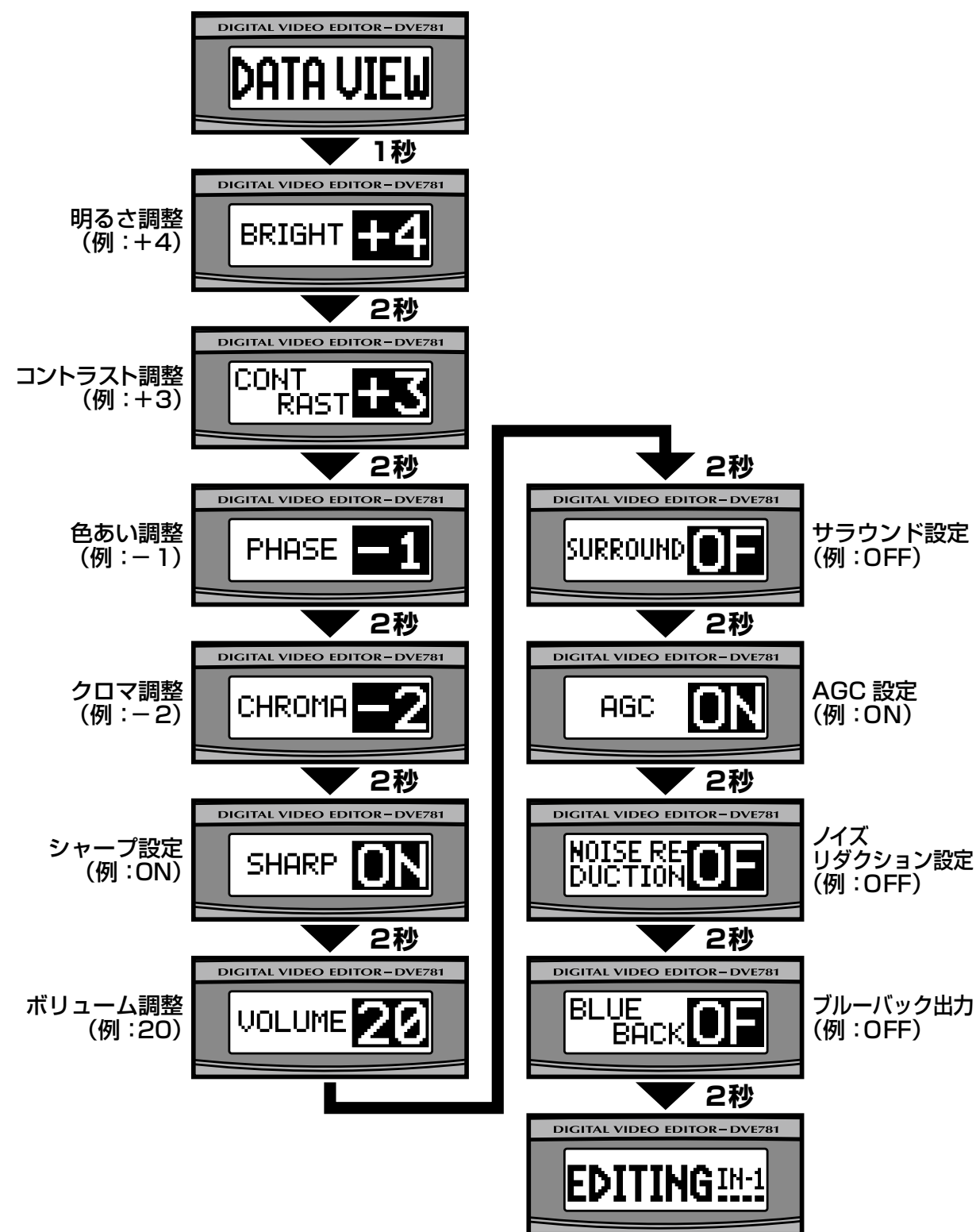
●**効　果**：各設定値を確認できます。

●**使用用途**：複数の設定を変更している場合でも、それぞれの設定値を簡単に確認できます。

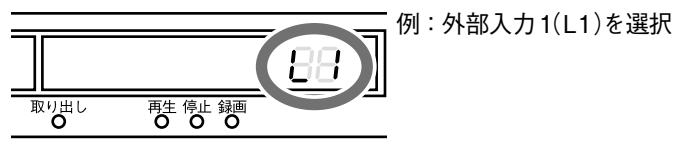
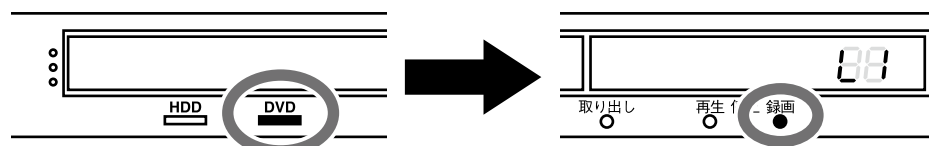
ワンポイント

- データビュー機能動作中に「ON/＋[ON/＋]ボタン」または「OFF/−[OFF/−]ボタン」を押すと、表示されている項目の設定を変更できます(データビュー機能は終了)。
- データビュー機能動作中に「MENU[メニュー]ボタン」を押すと、データビュー機能を終了させ、手動でメニュー項目を移動できます。
- データビュー機能動作中にもう一度「D.VIEW[設定値確認] ボタン」を押すか、電源を切ると、データビュー機能は終了します。

■ ハイブリッドレコーダー1台で編集する

本機とハイブリッドレコーダーの接続方法（☞50 ページ）

◇HDDに録画した1回録画（コピーワンス）番組などを記録メディア（DVD-Rなど）に録画する

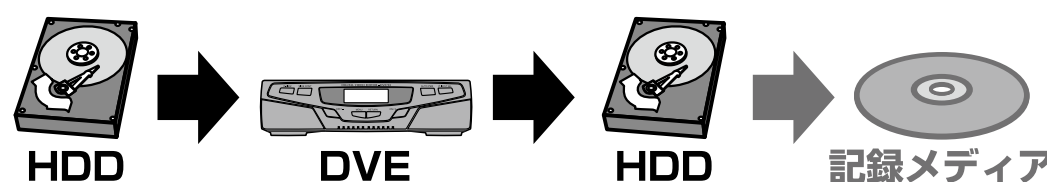
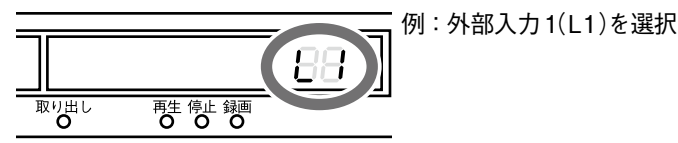
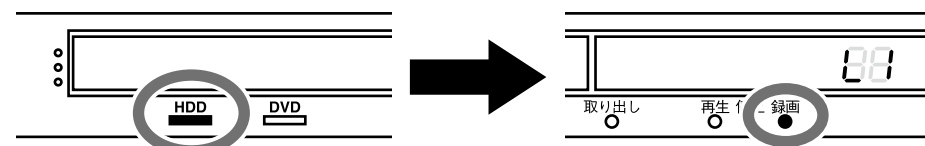
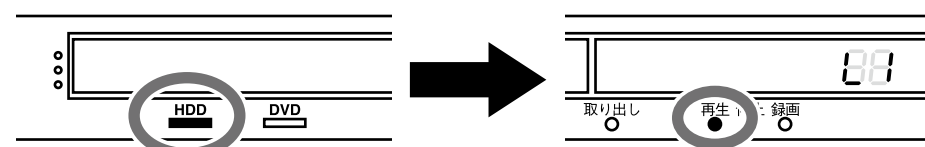
方法 1 HDDから出力した映像を、本機を通して記録メディアに直接録画する。

1 ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力（L1/L2など）に切り替える。

2 DVDを選択して、録画をスタートする。

3 HDDを選択したあと、番組一覧から録画したい番組を再生する。

ワンポイント

- 本機の接続方法は50 ページをご参照ください。
- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- 上記方法により、1回録画番組はムーブされずにそのままHDDに残ります。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。
  ※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

（方法1で録画できない場合にお試しください）

方法 2 HDDから出力した映像を、本機を通してHDDに再録画し、再録画した番組を記録メディアにダビングする。

1 ハイブリッドレコーダーのチャンネルを外部入力（L1/L2など）に切り替える。

2 HDDを選択して、録画をスタートする。

3 番組一覧を表示させ、録画したい番組を再生する。

4 再録画した番組を、レコーダーの機能を使って通常通りダビングする。（DVEは通さない）

ワンポイント

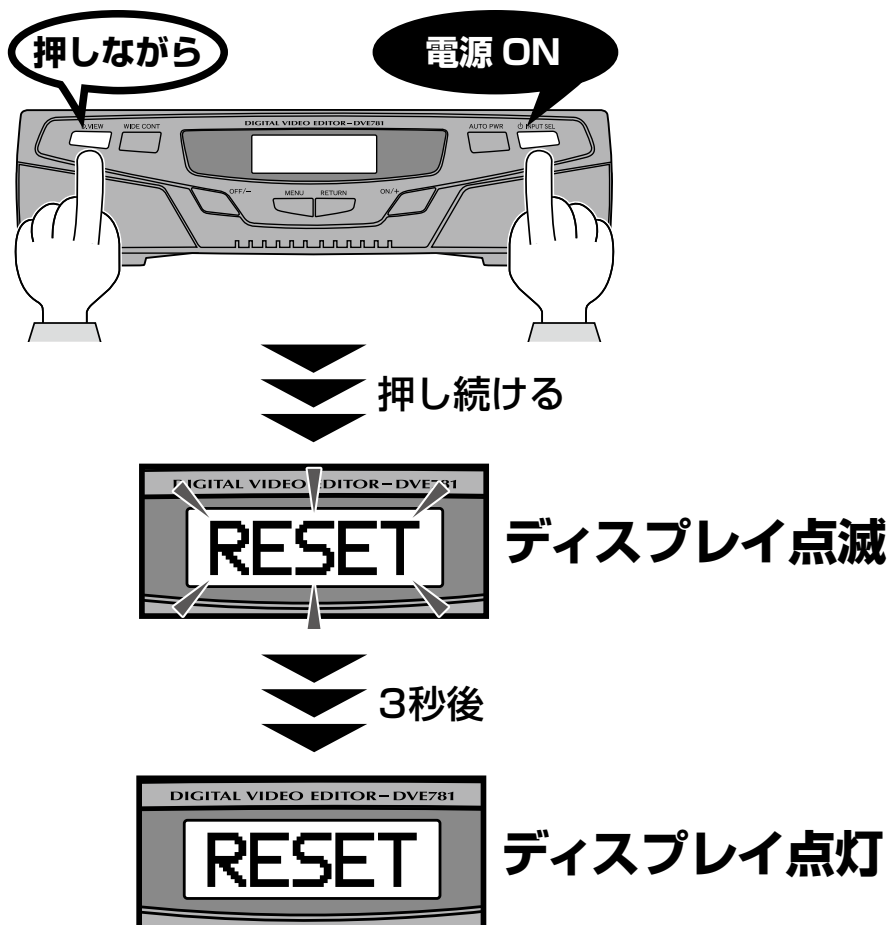
- 本機の接続方法は50 ページをご参照ください。
- 再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記方法は使用できません。
- 上記方法により、1回録画番組はムーブされずにそのままHDDに残ります。
- 外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINEダビング」などはご使用になれません。
  ※外部入力による等倍速ダビングとなります。
- 録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

■ 全ての設定を初期値に戻す

全ての設定を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

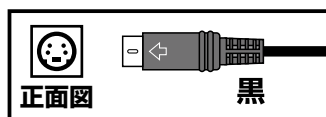
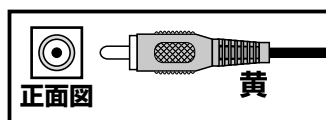
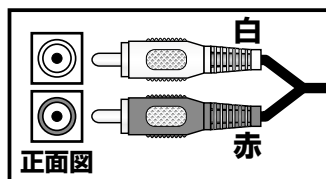
1 **⏻ INPUT SEL[電源]ボタンを操作して、電源を切る。** **(☞ 5 ページ)**

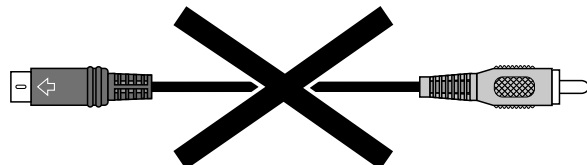
2 **D.VIEW ボタンを押しながら⏻ INPUT SEL ボタンを押すと、「RESET」が点滅する。**
そのまま 3 秒以上※1 押し続けると点滅が点灯に変わり、全て初期状態に戻る。

※1　リセット表示が点滅から点灯に変わる前に操作を中止すると、リセットされません。

ワンポイント

・入力 1 / 入力 2 それぞれに記憶されている設定値が全て初期値に戻ります。
・リモコンではリセット操作できません。
・リセット表示が点滅から点灯に変わる前に操作を中止すると、リセットされません。

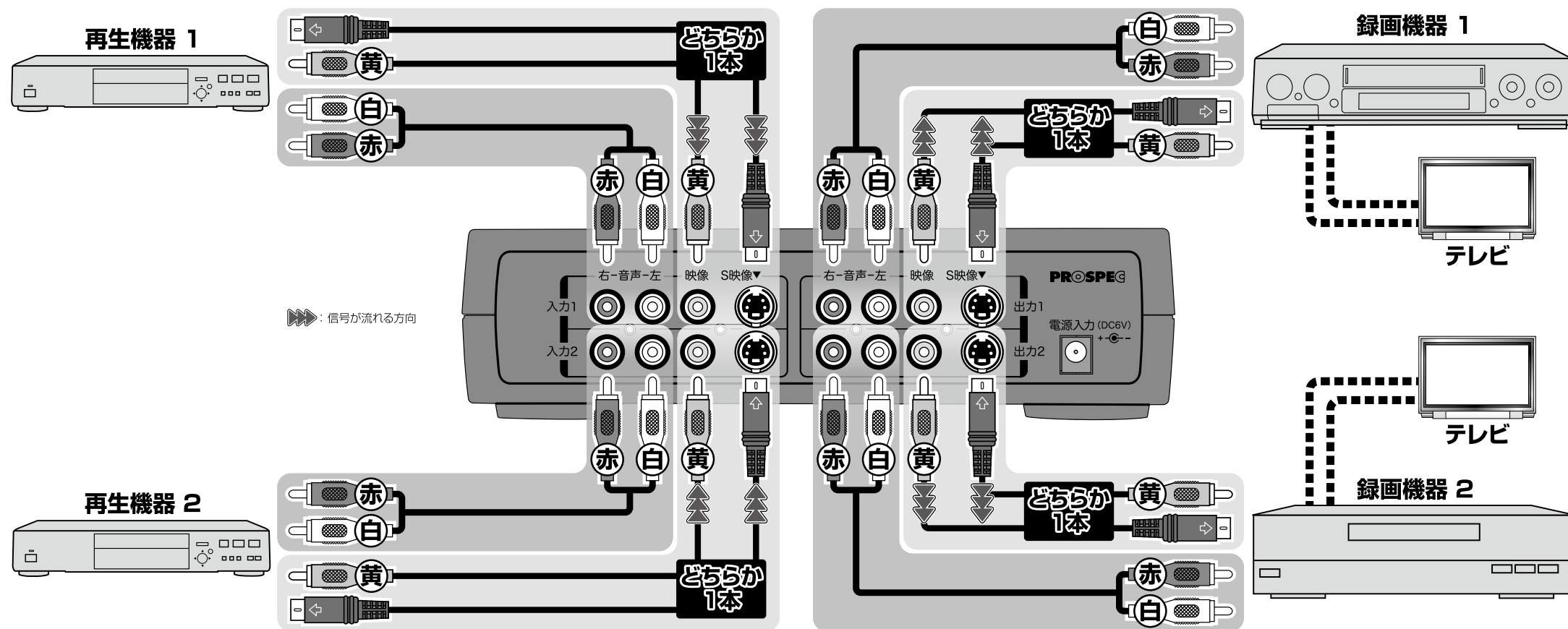
■ 接続に使用する端子の種類

本機と再生機器 / 録画機器を接続するために必要な端子例です。

S端子（黒）：映像用
映像接続用の端子です。ピン端子と比べ、より高画質な映像を楽しめます。（1本同梱されています）

ピン端子（黄）：映像用
映像接続用の端子です。（1本同梱されています）

ピン端子（赤 / 白）：音声用
音声接続用の端子です。**赤→右音声**・**白→左音声**に対応しています。（1セット同梱されています）

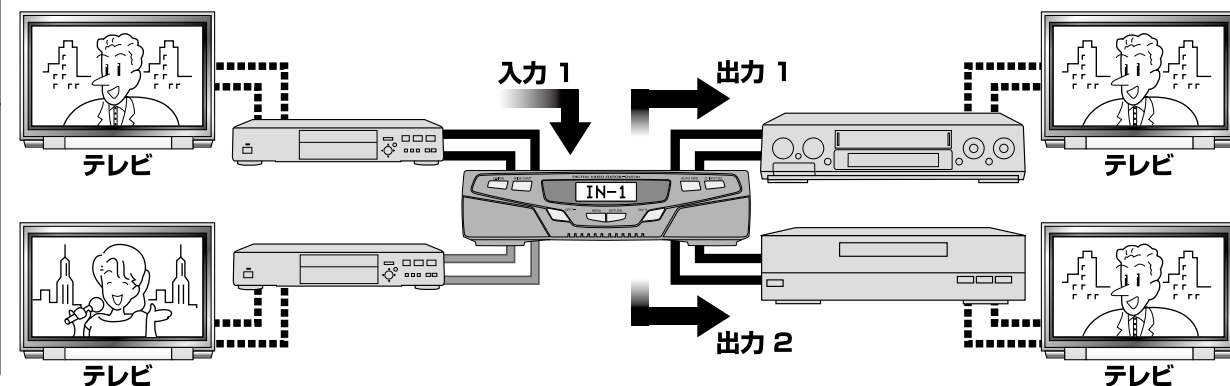
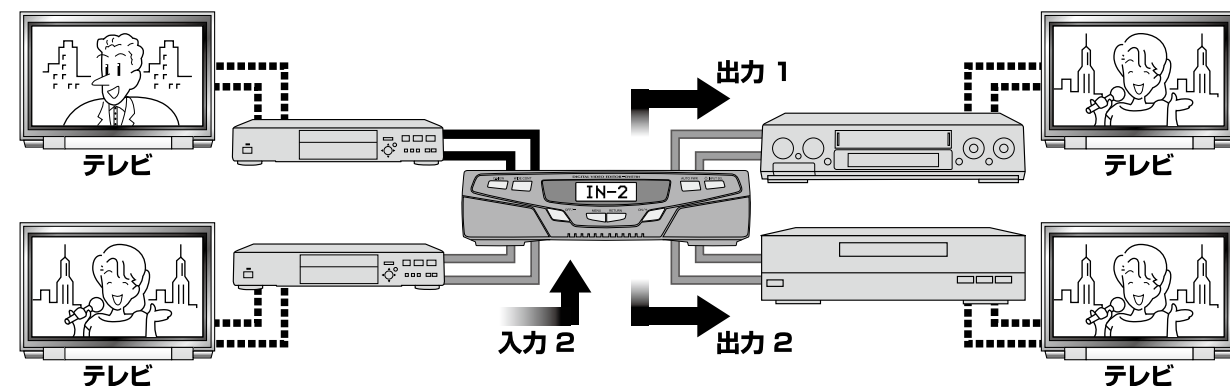
※当社製映像ケーブルDVE002は使用できません

接続のしかた -基本編-

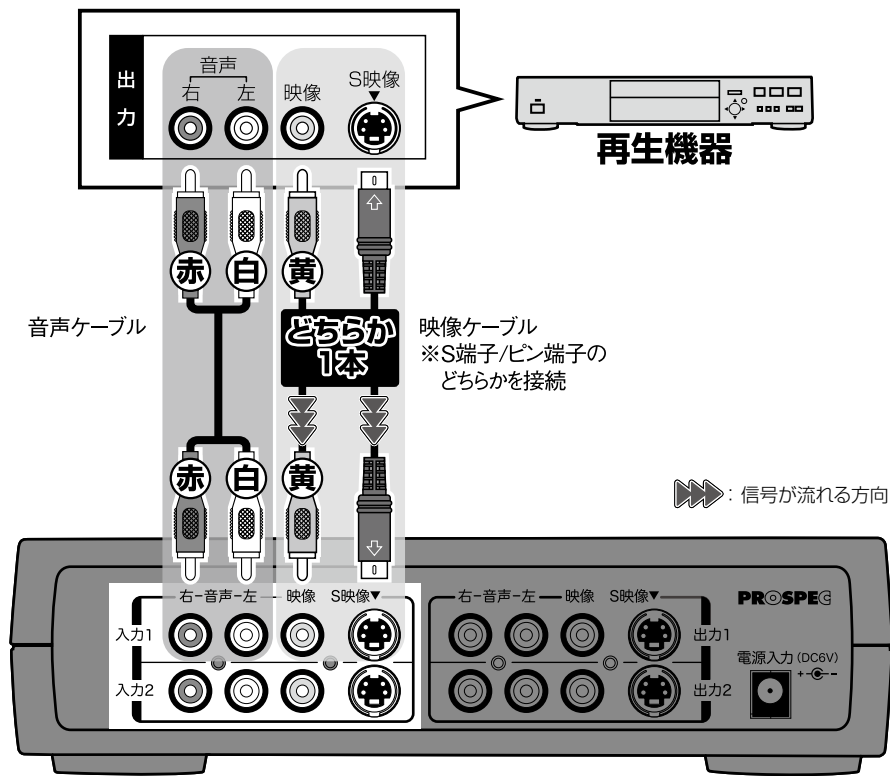
■ 接続概要図

下図のように再生機器と録画機器の間に本機を接続してください。接続の詳細は47ページ以降をご覧ください。

再生機器 1
再生機器 2
録画機器 1
録画機器 2
テレビ
テレビ
どちらか1本
赤 白 黄
右−音声−左　映像　S映像▼
入力1
入力2
出力1
出力2
電源入力 (DC6V)
PROSPEC
：信号が流れる方向

■ セレクター機能について

出力１・出力２は同じ映像を出力します。
入力を切り替えると出力１・出力２も同様に切り替わります。

入力 1 選択時

入力 2 選択時

接続のしかた -基本編-

再生機器と本機を接続する

再生機器の映像を「入力 1」へ接続する。

映像ケーブルをどちらか 1 本接続します。
映像ケーブルは S 端子/ピン端子どちらも対応しています。

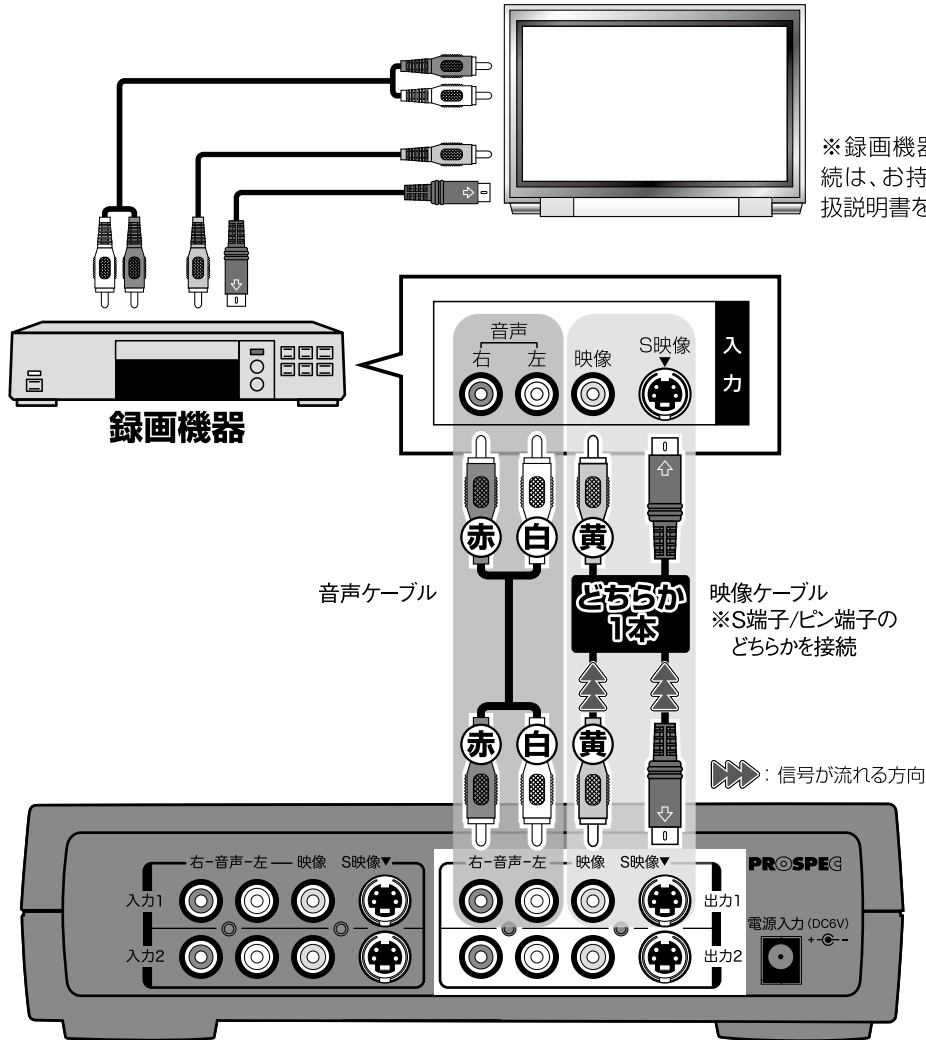
※入力端子と出力端子で、S端子ケーブルとピン端子ケーブルの混合接続が可能です。それぞれの組み合わせによる画質レベルは下表のとおりです。

	再生機器側のケーブル	DVE781		録画機器側のケーブル	画質
①	S端子	入力	出力	S端子	高
②	S端子	入力	出力	ピン端子	
③	ピン端子	入力	出力	S端子	
④	ピン端子	入力	出力	ピン端子	低

ワイド識別信号について

①③の場合はS1/S2/ID-1の出力が可能です。②④の場合はID-1のみ出力が可能です。

重要 再生機器・録画機器の一方または両方とも「ワイド識別信号非対応」機器の場合、ワイド識別信号に対応した使用ができない場合があります。

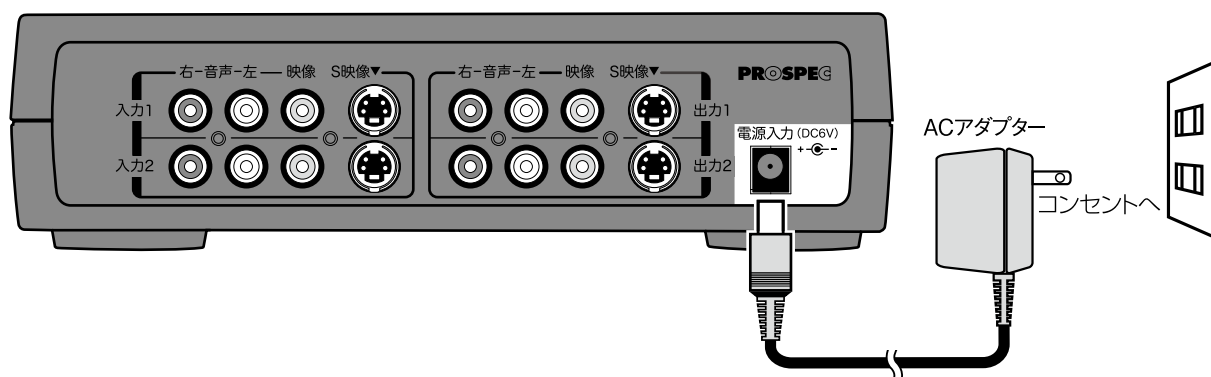
本機と録画機器を接続する

録画機器を「出力 1」または「出力 2」へ接続する（上図は「出力 1」接続例）。

映像ケーブルを接続します。
映像ケーブルは S 端子/ピン端子どちらも対応しています。

ワンポイント

- 入力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
  ※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。
- 1つの出力系統にS端子ケーブル/ピン端子ケーブルを同時に接続した場合は、すべて同時に映像が出力されます。
- 映像信号を入力しているケーブルと出力しているケーブルの種類が異なる場合※は、映像がスルーされません。（☞7ページ）

※入力側ピン端子ケーブルに対して出力側S端子ケーブル、入力側S端子ケーブルに対して出力側ピン端子ケーブル

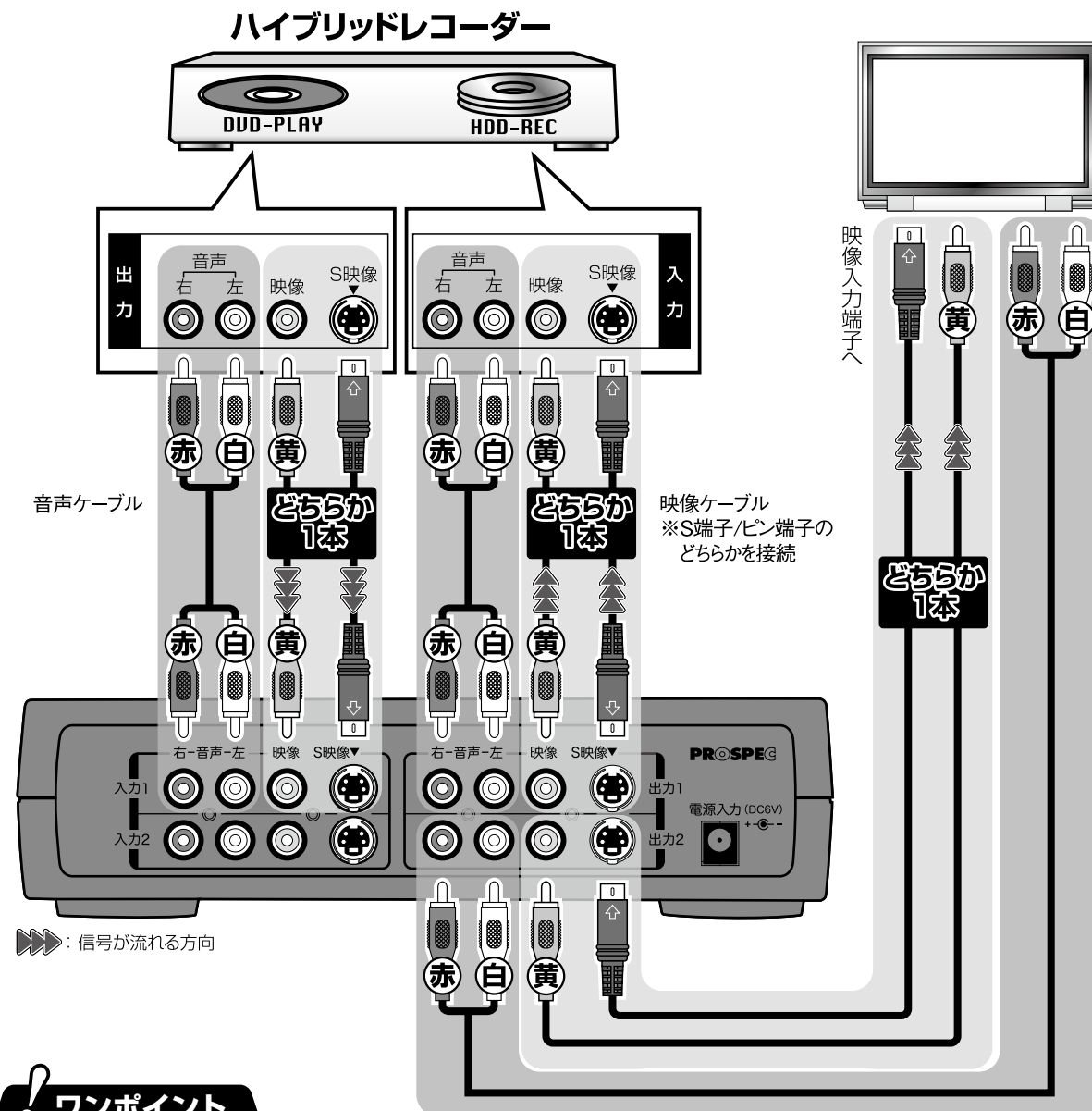
電源を接続する

付属の ACアダプターを「電源入力」、コンセントへ接続する。

ワンポイント

・壁に据付けのコンセント(AC100V)をご使用ください。

 付属の ACアダプター以外は絶対に使用しないでください。

■ ハイブリッドレコーダーへの接続

ハイブリッドレコーダー(HDD と DVD など録画メディアが複数ある機器)1台のみでDVDを再生して、HDD に一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

ワンポイント

・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記の接続による使用はできません。再生機器または録画機器を別途1台用意して、「接続のしかた - 基本編 -」(☞ 45 ページ〜)の方法で接続してください

・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

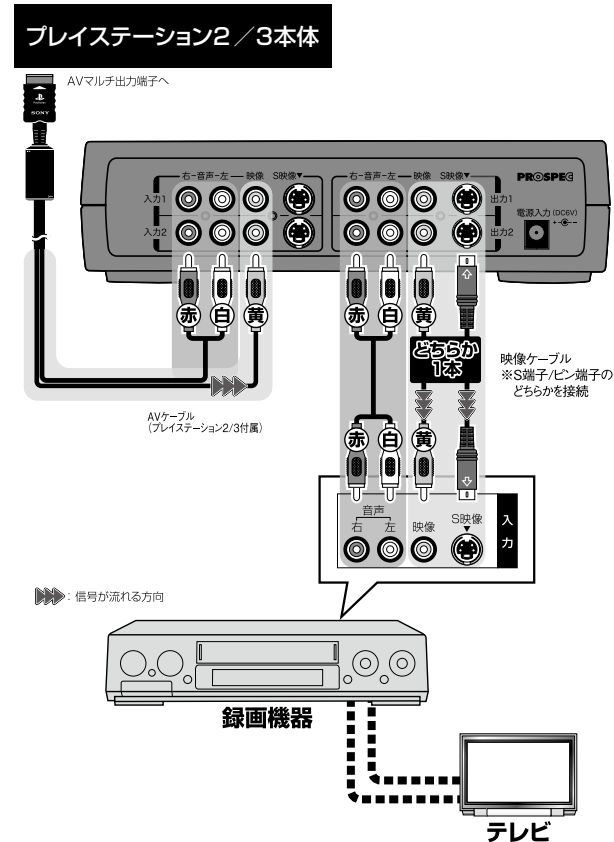
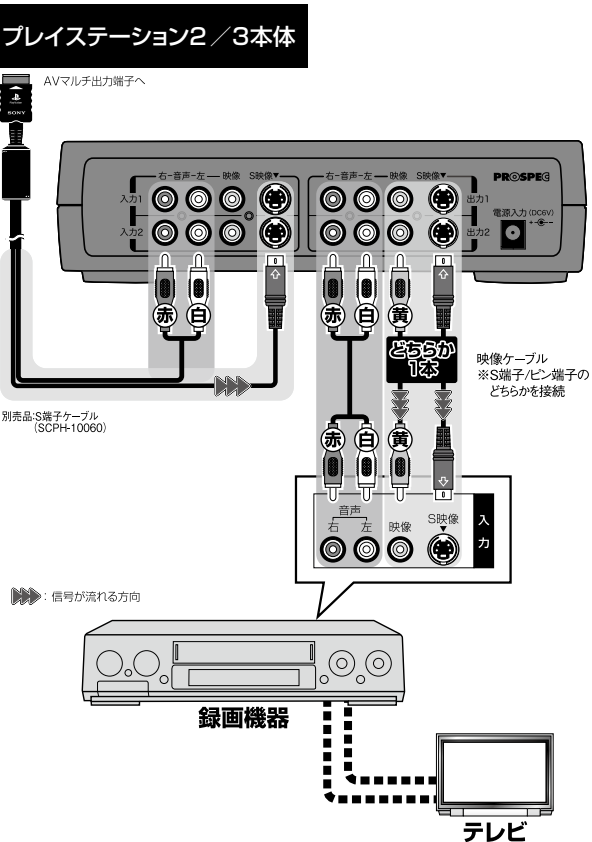
・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などはご使用になれません。
※外部入力による等倍速ダビングとなります。

・録画の前後はハウリングの影響で映像が乱れますが、本機の故障ではありません。

接続のしかた -応用編-

■ プレイステーション 2／3 への接続

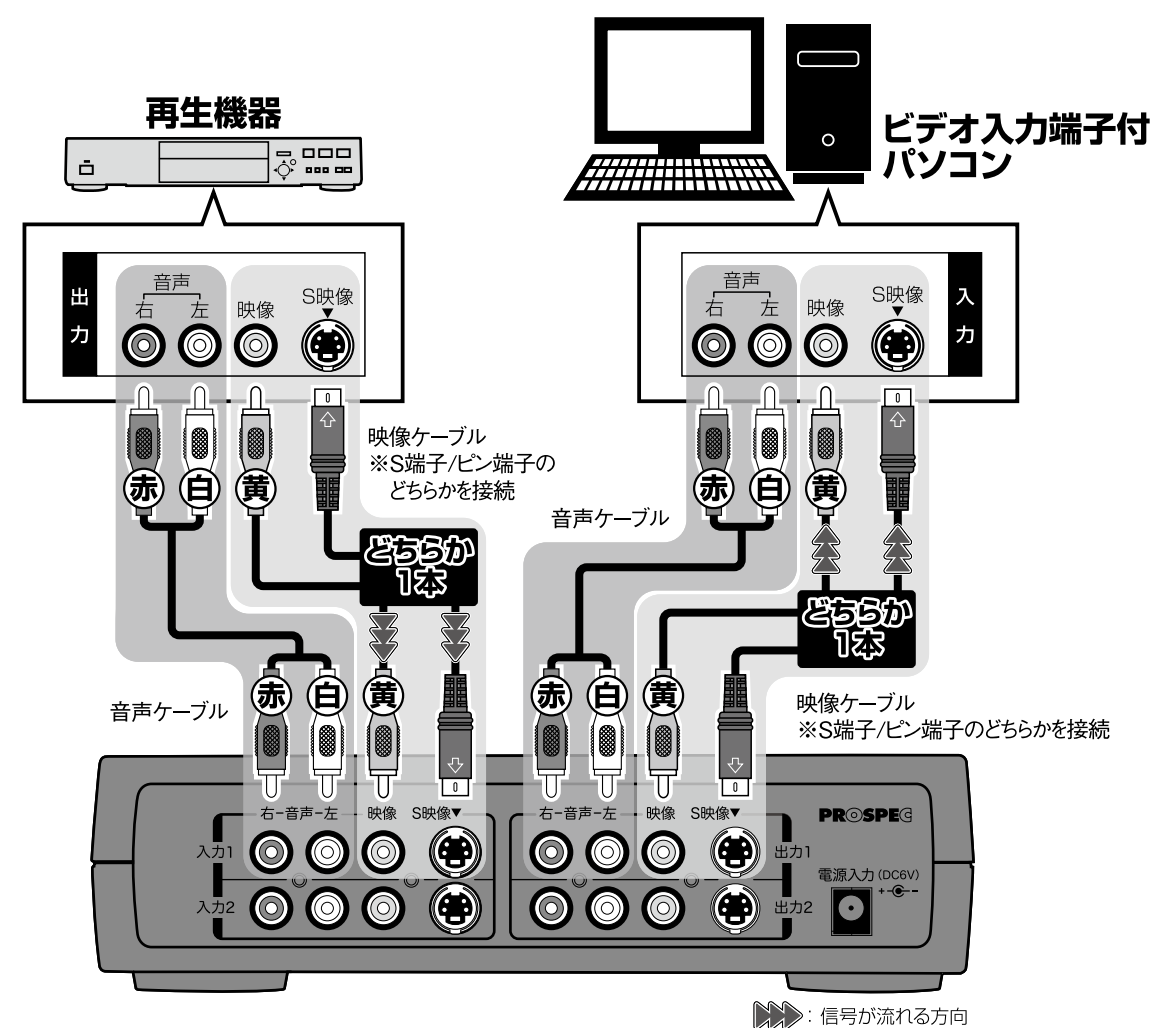
プレイステーション2または3を再生機器として使用できます。(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントより発売されているS端子ケーブル(SCPH-10060)を使用すると、より高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

プレイステーション2/3本体に付属のAVケーブルを使用する場合

S端子ケーブル (SCPH-10060) を使用する場合

(上図は「出力 1」接続例)
録画機器の接続方法は、お手持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

ワンポイント

・入力系統にS端子ケーブル／ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。
・プレイステーション2またはプレイステーション3は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

■ ビデオ入力端子のあるパソコンへの接続

ビデオ入力端子を装備しているパソコンをお持ちの場合、本機で編集した映像／音声をパソコンに取り込むことができます。※別途編集用のソフトを必要とする場合があります。

(上図は「出力 1」接続例)
●パソコン側の入力ジャックの形状によっては、ケーブルが上図のものと異なる場合があります。

ワンポイント

・入力系統にS端子ケーブル／ピン端子ケーブルを両方同時に差し込んだ場合は、S端子ケーブル側の機器の電源の入切にかかわらず、S端子ケーブルが優先されます。
※本機の電源が入っている状態でケーブルの差し替えや追加接続をおこなうと、場合によっては接続ケーブルを正しく認識できません。よって接続ケーブルの追加や変更をおこなう際は、一度本機の電源をお切りください。

故障かな？と思ったら

■ 使用中のトラブルと回避方法

電源ボタンを押しても電源が切れない

●電源ボタンを２秒以上押してください（☞５ページ）。

ワイド映像（16：9）が縦長（4：3）に映る

●録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。また、録画機器の長時間記録モード使用時や、記録メディアの種類（CPRM非対応のDVD-R使用時など）によっては、ワイド識別信号が記録されない場合があります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご参照ください。

映像に波がでる

●付属品以外のACアダプターを使用していると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。

●1つのテーブルタップに他の機器と合わせて接続していると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。

●一部の接続機器（チューナー等）との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

●再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります（TBC機能を有する場合）。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。

●再生機器または録画機器のDNR（デジタルノイズリダクション）機能がONになっていると発生する場合があります（DNR機能を有する場合）。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

映像がブレる

●再生機器または録画機器のDNR（デジタルノイズリダクション）機能がONになっていると発生する場合があります（DNR機能を有する場合）。再生機器または録画機器のDNR 機能をOFF にしてください。

ビデオデッキ（アナログソース）側で一時停止やスロー再生（特殊効果）をおこなうと、乱れた映像が出力される

●アナログソースに特殊効果を加えて本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。このような場合は本機の電源を切ってください（☞５ページ）。

ビデオキャプチャーを使用し、本機の電源を入れると画面下の映像が消える

●画面下の映像は処理上カットしていますので故障ではありません。なお、カットされている部分は通常のテレビモニターでは表示されません。

DVD-RW には直接録画できるが、DVD-R には直接録画ができない

●一部のHDD内蔵DVDレコーダーは、仕様により特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。その場合は、一旦HDDに録画してからHDD→DVD-Rへ録画してください。なお、これは本機が原因で起こるものではありません。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

ハイブリッドレコーダー１台で編集した映像に字幕が映らない

●テレビをHDMIケーブルまたはD端子ケーブルで接続している場合に発生する可能性があります。テレビとの接続をS端子ケーブルまたはピン端子ケーブルに変更してください。

■ Q&A

本製品全般

Question	Answer
ピン端子で映像を入力しても、DVEが認識しない。（ディスプレイに DVE が表示される）	本機の入力端子にＳ端子とピン端子を両方差し込んでいませんか？Ｓ端子を差し込むと、Ｓ端子を優先して認識します。
映像信号が入力されると録画が開始される録画機器で、タイマー録画をおこなうには？	オートパワー設定を「ON」にしてください（☞35ページ）。
レンタルビデオや経年劣化したビデオ（共にVHS）を編集する際の注意点は？	レンタルビデオは再生する頻度が高く、テープ自体が劣化（傷んでいる）可能性がありますので、経年劣化したテープと同様に本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズとして現れます。
誤って本体に衝撃を加えてしまった、または本体に異物が入ったり水に濡れてしまった場合は？	直ちにACアダプターをコンセントから外し、当社に点検・修理依頼をしてください。
リモコンの電池交換時期は？	使用頻度により交換時期が異なります。明らかに反応が悪くなったときが交換時期です。
本機に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は？	各機器に付属している取扱説明書をお読みいただくか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。
デジタル放送録画時に入る、画面の両端や上下左右の黒帯を削除できますか？	放送局側で黒帯の映像を入れている為、削除できません。

レコーダー／プレーヤー全般

Question	Answer
ハイブリッドレコーダー１台で編集する際、乱れた映像が表示されますが、故障ですか？	ループ接続による副作用（ハウリング）ですので、故障ではありません。再生スタートと同時に正常な映像に戻ります。
ハイブリッドレコーダー１台で編集する際、色あいや明るさなど、調整した映像が画面で確認できないのですが？	本機の空いている出力端子に直接テレビを接続すると、本機の出力映像を確認できます。
地デジチューナー内蔵のハイブリッドレコーダーで、取扱説明書通りに接続しても編集ができない（外部入力にしても映像が表示されない）。	地デジチューナー内蔵ハイブリッドレコーダーの録画方式をデジタルハイビジョン方式（TS方式/AVCREC方式/DR方式）に設定していると、レコーダーがアナログ入力を受け付けない場合があります。アナログ標準録画方式（VR方式）に切り替えてご使用ください。
画面に映像が表示されません。	一部機種では、HDMI端子やD端子（1080p）で接続していると、S端子やピン端子から映像が出力されないことがあります。その場合は、ハイビジョンレコーダー側のＳ端子／ピン端子とテレビを直接接続し、映像が出力されるか確認してください。映像が出力されない場合は、ハイビジョンレコーダー側の「映像出力設定」を変更するか、別の再生機をご用意ください。